PoE 監視システム
取扱説明書
(R シリーズ)


supportjp@jeneutech.com


050-5050-9046 (10:00-13:00、14:30-18:30 土日を除く)
034-577-8298

RK.1126.001.J
BB0757

本書について

本取扱説明書は製品のガイドとしてのみ使用され、実際の製品と内容が異なる場合があります。実物を優先してください。

使用上の注意

※ 正規販売ルートから、機器メーカー推奨の専用 HDD をご購入ください。HDD の品質および動作要件を確保するためです。
※ 機械的負荷の偏りによる危険が発生しないようにしてください。
※ パスワードその他の製品セキュリティ設定を適切に構成し、ユーザー名とパスワードを厳重に管理してください
※ 安定した給電を確保してください。太陽光発電・風力発電を使用する場合は、常に給電状況を監視してください。
※ 機器のファームウェアアップグレード中は電源を切らないでください。
※ 機器の USB ポートはマウスまたは USB メモリーの接続に限ります。充電やその他の負荷機器の接続は禁止されています。

電気安全

※ 電池の交換を誤ると爆発の危険があるため、ユーザー自身による交換は推奨しません。交換が必要な場合は、同種または等価仕様の電池のみを使用してください。
※ 電池を極端に高温の環境に置かないでください。爆発、または可燃性の液体・ガスが漏出する恐れがあります。
※ 電池を極端に低気圧の環境に置かないでください。爆発、または可燃性の液体・ガスが漏出する恐れがあります。
※ 廃棄電池は環境を汚染する可能性があります。使用済み電池は地域の法令に従って処分してください。
※ 機器の設置・使用時には、必ず自国および使用地域の電気安全関連規定を厳守してください。
※ 正規メーカー製の電源アダプタをご使用ください。同梱の電源アダプタの使用を推奨します。
※ 複数の機器を同一の電源アダプタに接続しないでください（アダプタの定格負荷を超えると、発熱過多や火災の原因となります）。
※ 配線、修理などの作業を行う際は、必ず機器の電源をすべて遮断し、活線作業を行わないでください。
※ 入力電圧が機器の仕様に適合しているか確認し、機器のアース端子が適切に接地されていることを確保してください。

輸送・保管

※ 機器の上に液体の入った容器(コップなど)を置かないでください。
※ 輸送時は、付属のダンボールと緩衝材、または同等の梱包材で機器を梱包し、急な衝撃が加わらないようにしてください。
※ 極端に低温または高温の環境で機器を使用・保管しないでください。
※ 極度に湿潤、または粉塵の多い環境で機器を使用・保管しないでください。
※ 高周波や強電干渉源のある環境で機器を使用・保管しないでください。
※ 機器は乾燥し、腐食性ガスのない環境に保管し、直射日光を避けてください。

設置上の注意

※ 換気の良い場所に機器を設置してください。複数台設置する場合は、機器同士の間隔を 2cm 以上確保することを推奨します。
※ 振動する面や衝撃を受けやすい場所への設置を避けてください。
※ 機器を縦置きにしないでください。HDD の動作異常を引き起こす恐れがあります。
※ HDD の取り付け時は丁寧に取り扱ってください。固定用ネジはすべて締め付け、HDD に衝撃を与えないでください。
※ 電源プラグは電源遮断用の部品です。プラグを塞がないようにし、抜き差しが容易な状態を保ってください。

保守・清掃

※ 機器を清掃する際は、電源コードを抜き、完全に電源を遮断してください。
※ 機器内部の基板に付着した粉塵は湿気を帯びるとショートの原因となります。定期的に柔らかいブラシで基板、コネクタ、筐体および筐体ファンの埃を除去してください。汚れが落ちにくい場合は、水で希釈した中性洗剤で拭き取った後、乾拭きしてください。
※ 清掃時にアルコール、ベンゼン、シンナーなどの揮発性溶剤、強力な洗剤や研磨性の洗浄剤を使用しないでください。表面塗装を損傷する恐れがあります。

目次

1. 製品紹介 ····· 1
1.1 同梱部品一覧 ····· 1
1.2 監視カメラ紹介 ····· 1
1.3 レコーダー概要 （NVR は屋外で使用できません） ····· 3
1.4 ハードデイスクの取り付け方法 ····· 5
1.5 接続説明 ····· 6
1.6 PoE カメラの設置方法 ····· 6

2. 初期設定 ····· 7
2.1 起動ウィザード ····· 7
2.2NVR アイコン ····· 11

3. IP カメラ接続 ····· 12
3.1 自動追加 ····· 12
3.2 手動追加 ····· 12
3.3 ネットワーク診断 ····· 14

4. AI ····· 15
4.1 AI 設定 ····· 15
4.2 動体検知アラーム設定 ····· 15
4.3 車両データ管理 ····· 18
4.4 AI イベント検索 ····· 19

5. 再生 ····· 22
5.1 ノーマル再生 ····· 23
5.2 イベント再生 ····· 23
5.3 その他機能 ····· 24

6. 画面表示設定 ····· 26
6.1 OSD 設定 ····· 26
6.2 ISP パラメータ設定 ····· 26
6.3 照明パラメータ設定 ····· 28
6.4 エンコードパラメータ設定 ····· 29
6.5 プライバシーマスク設定 ····· 31
6.6 音声設定 ····· 31
6.7 PTZ 設定 ····· 32

6.8 録画ストレージ設定 - 録画スケジュール ····· 33
6.9 録画ストレージ設定 - HDD ····· 34
6.10 録画ストレージ設定 - ストレージモード ····· 35

7. ネットワーク設定 ····· 36
7.1 ローカルネットワーク ····· 36
7.2 ポートの設定 ····· 37
7.3 動的ドメイン名（DDNS） ····· 38
7.4 メール設定 ····· 38
7.5 アクティブレジストレーション ····· 39
7.6 スマホアプリ接続 ····· 40

8. アラーム管理 ····· 41
8.1 ノーマルイベント ····· 41
8.2 エラー通知設定 ····· 42
8.3 音声アラーム ····· 42

9. システム設定 ····· 43
9.1 基本設定 ····· 43
9.2 時刻設定 ····· 43
9.3 ユーザー管理 ····· 44
9.4 プレビュー設定 ····· 46
9.5 プレビュー画面レイアウト設定 ····· 46

10. メンテナンス ····· 47
10.1 システム情報 ····· 47
10.2 オンラインユーザー確認 ····· 48
10.3 インストール情報の備考 ····· 48
10.4 ログ検索とバックアップ ····· 49
10.5 NVR のアップグレード ····· 49
10.6 構成管理 ····· 51
10.7 レコーダーメンテナンス ····· 52

11. アプリ接続ガイド ····· 53
11.1 スマホアプリのダウンロード ····· 53
11.2 HiEasy アプリで NVR を追加 ····· 54

12. クライアント接続ガイド ····· 60

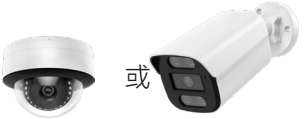
13. 安心なアフターサービス ····· 63

1. 製品紹介

1.1 同梱部品一覧



POE NVR



POE 防犯カメラ



ネジ



防水キャップ



1m LAN ケーブル



20m LAN ケーブル



マウス



52V PoE NVR
用電源アダプタ



HDD



取付用シール



警告ステッカー



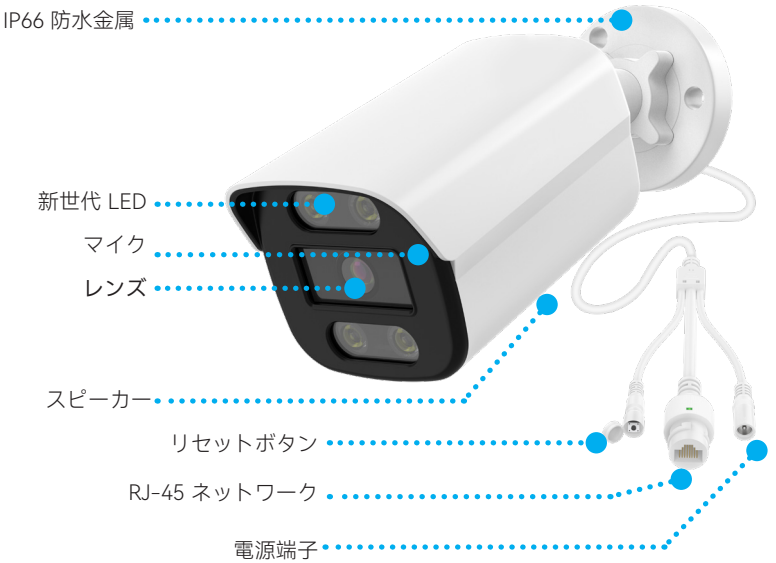
取扱説明書

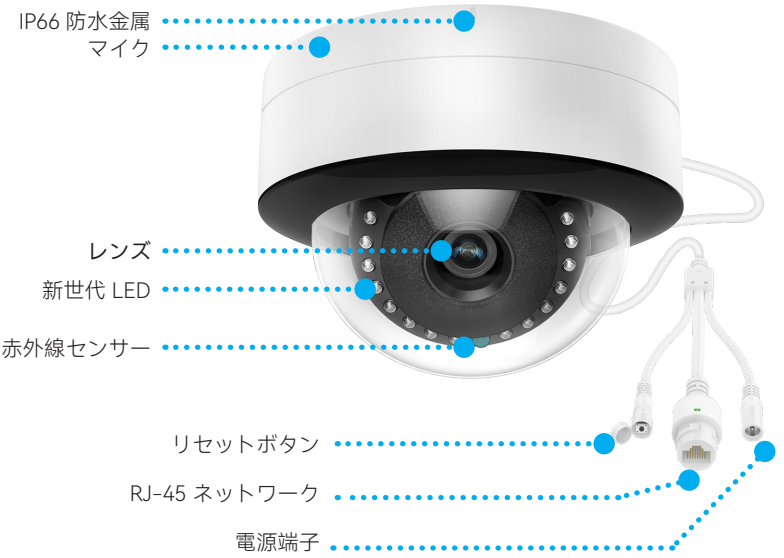


HDMI ケーブル

注：ご購入の機種により、機器および付属品の数量は異なります。

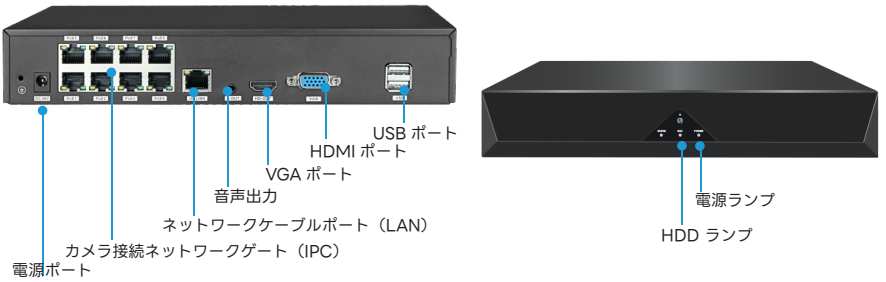
1.2 監視カメラ紹介





注:
本節では複数タイプのカメラを掲載しております。お手元のカメラをご確認の上、該当する説明をご参照ください。 実際の外観・構成部品は機種により異なる場合があります。

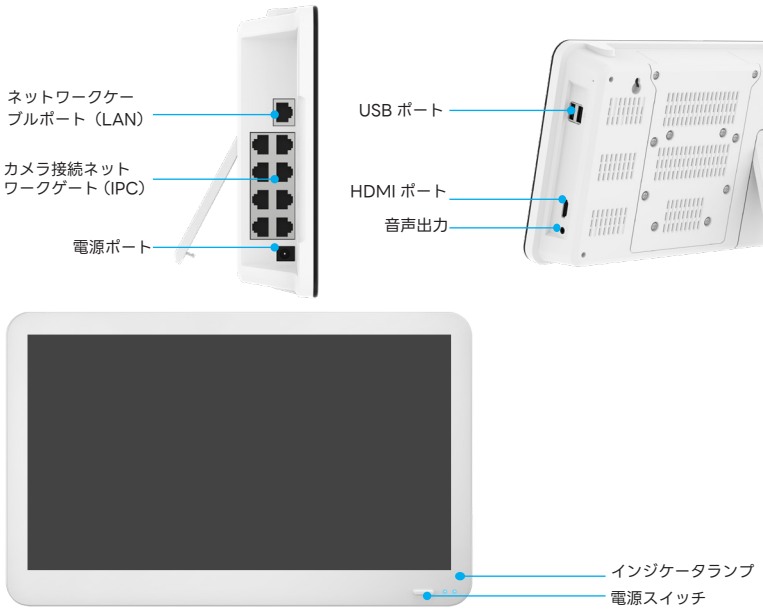
1.3 レコーダー概要 （NVR は屋外で使用できません）



1. **VGA ポート**：VGA ケーブルで NVR とテレビ / モニターを繋げる。
2. **HDMI ポート**：HDMI ケーブルで NVR とテレビ / モニターを繋げる。
3. **LAN ポート**：遠隔監視するため、LAN ケーブルで NVR 録画機とホームルーターの LAN ポートに差し込む。
4. **IPC ポート**：カメラ接続用
5. **USB ポート**：USB マウス操作用、 USB フレッシュドライブ （USB メモリー） でデータ映像の保存用、システムアップグレード用
6. **電源ポート**：48-52 V DC アダプター用
7. **電源ランプ**：NVR を通電するとオンになる。
8. **HDD ランプ**：カメラが作動するとオンになる。

ご注意：

1. 接続可能なカメラ台数は、NVR 本体の対応チャンネル数（ランポート数）によります。
2. TV または PC モニターに接続してローカル表示・再生が行えます。ノートパソコンはモニターとして利用できませんのでご注意ください。
3. 記載の機種は参考例です。実物・仕様はご購入商品の販売ページをご確認ください。



1. **USB ポート**：USB マウス操作用、 USB フレッシュドライブ （USB メモリー） でデータ映像の保存 用、システムアップグレード用。
2. **スピーカー**：ライブと再生の音が聞こえる用。
3. **HDMI ポート**：HDMI ケーブルで NVR とテレビ / モニターを繋げる。
4. **LAN ポート**：遠隔監視するため、LAN ケーブルで NVR 録画機とホームルーターの LAN ポートを差し込る。
5. **IPC ポート**：カメラ接続用。
6. **インジケータランプ**：NVR を通電するとオンになる。
7. **音声出力**：外付けのイヤホンを接続すると、音が聞こえる。
8. **スタンダード**：モニターの角度を調整する。

ご注意：

1. 接続可能なカメラ台数は、NVR 本体の対応チャンネル数（ランポート数）によります。
2. TV または PC モニターに接続してローカル表示・再生が行えます。ノートパソコンはモニターとして利用できませんのでご注意ください。
3. 記載の機種は参考例です。実物・仕様はご購入商品の販売ページをご確認ください。

1.4 ハードデイスクの取り付け方法

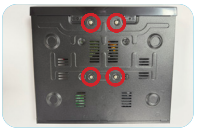
ハードディスクを取り付けるときに、録画機の電源を切ってください。


1-1


1-2


1-3


1-4


1-5


1-6


1-7

1. 本体の底にある 4 本のネジを外し、カバーを取り外します。
2. Sata ケーブルと電源ケーブルをハードディスクに接続します。
3. ハードディスクを録画機の 4 つのネジ穴に固定します。
4. 録画機のネジを締め付けます。


1-1


1-2


1-3


1-4

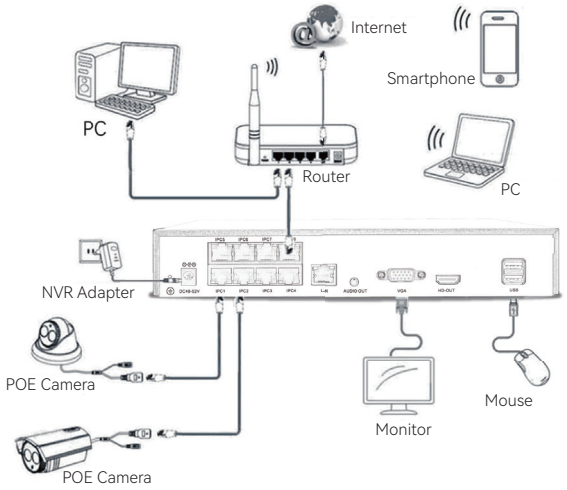

1-5


1-6


1-7

1. 本体の底にある 4 本のネジを外し、カバーを取り外します。
2. Sata ケーブルと電源ケーブルをハードディスクに接続します。
3. ハードディスクを録画機の 4 つのネジ穴に固定します。
4. 録画機のネジを締め付けます。

1.5 接続説明



ステップ 1：カメラを LAN ケーブルで NVR の POE ポートに接続します。
ステップ 2：VGA/HDMI ケーブルで、NVR レコーダーとテレビ / モニターを接続します。
ステップ 3：マウスを差し込みます。
ステップ 4：LAN ケーブルで NVR レコーダーとホームルーターの LAN ポートを差し込みます。（スマホ /PC で遠隔監視する時必要）
ステップ 5：NVR レコーダーの電源を入れます。数十秒後にライブ映像が表示され、ローカル閲覧、再生などの機能に対応します。

1.6 PoE カメラの設置方法

PoE カメラの設置方法 カメラは地面から 2 ~ 3m の高さに設置することを推奨します。これにより、カメラのモーションセンサーの検知範囲を最大限活用できます。 カメラは NVR からネットワーク信号と電源の供給を受けるため、NVR から 80m 以内に設置することを推奨します。

2. 初期設定

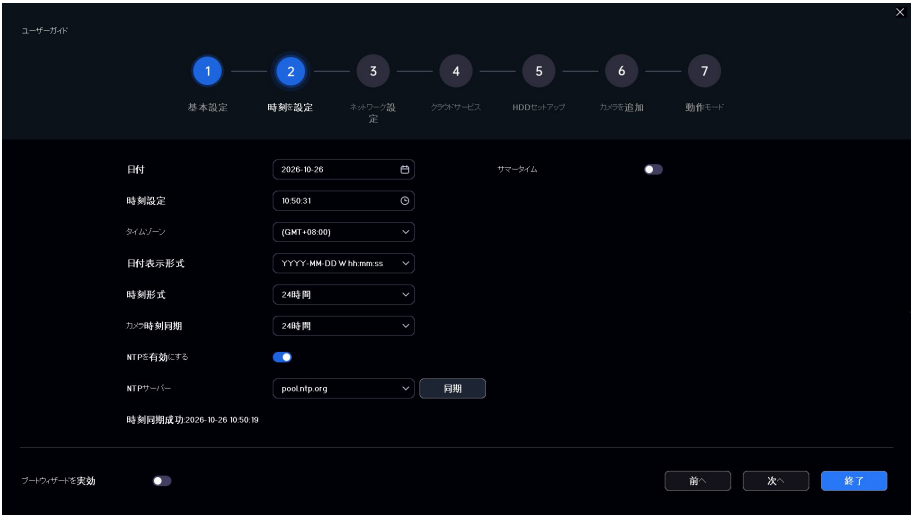
2.1 起動ウィザード

1. ご希望の言語を選択し、パスワードを設定してください。設定後は「パスワードを記憶」を有効にすることを推奨します。パターンロックも設定可能です設定完了後、「次へ」をタップしてください。





2. ご希望の日付形式とタイムゾーンを選択してください。 NVR がネットワークに接続されている場合、「時刻自動設定」を有効にすると、ネットワーク上の時刻情報と自動で同期されます。設定完了後、「次へ」をタップしてください。



3.NVR は初期状態で DHCP が有効になっています。
ネットワーク設定に慣れていない場合は、初期設定のまま「次へ」をクリックしていただくことを推奨します。
IP アドレスを手動で設定する必要がある場合は、事前に「IPV4 アドレスを自動的に取得」と「DNS サーバーを自動的に取得」を無効にしてください。



4. スマホに「Ruiboshi」というアプリをダウンロードしてください。
アプリ内で NVR の追加する QR コードを読み取り、機器を接続します。
デバイスをペアリングできて、アプリからカメラ映像をリモートで確認できるようになります。



5. ストレージ情報を確認してください。
ハードディスクを接続しているのに情報が表示されない場合は、電源を切ったうえでハードディスクを抜き差しし、再度 HDD 情報を確認してください。



6. NVR の各チャンネルのカメラ状態を確認してください。
「+ 追加」をクリックすると、新しいカメラを追加できます。
接続したカメラの数と画面上に表示される数が一致しない場合は、更新を実施したうえで再度状態を確認してください。



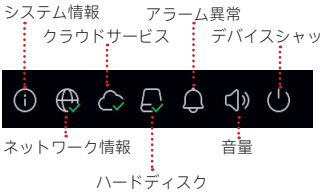
7. NVR 動作モード:
NVR のチャンネル数、IPC の最大解像度、最大再生チャンネル数、リモートプレビュー数が表示されます。



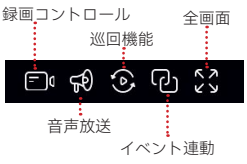
2.2NVR アイコン



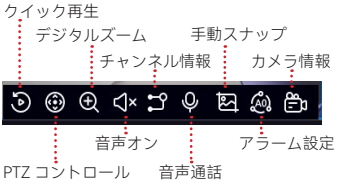
右上アイコン



下部中央アイコン



チャンネル内アイコン





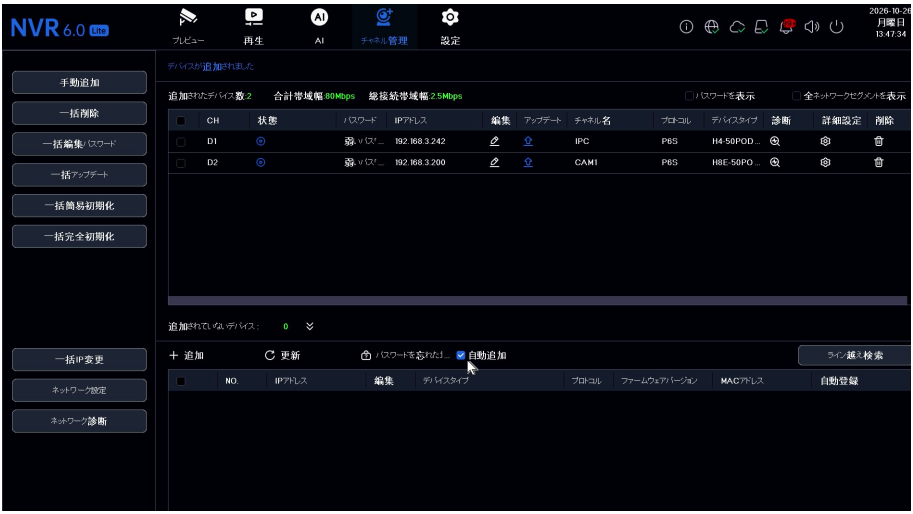
3. IP カメラ接続

3.1 自動追加

自動追加を有効にすると、NVR は自動的に同じネットワーク内の IP カメラを追加します。

IP カメラを LAN ケーブルでレコーダーに接続すると、NVR が自動検索を実行します。IP カメラにパスワードが設定されていない場合、自動的に追加されます。

追加結果の確認:
※ 追加成功: プレビュー画面の該当チャンネルに映像が表示されます。
※ 追加失敗: プレビュー画面のチャンネルに映像が表示されません。画面上の案内に従い、チャンネルのユーザー名またはパスワードを変更してください。



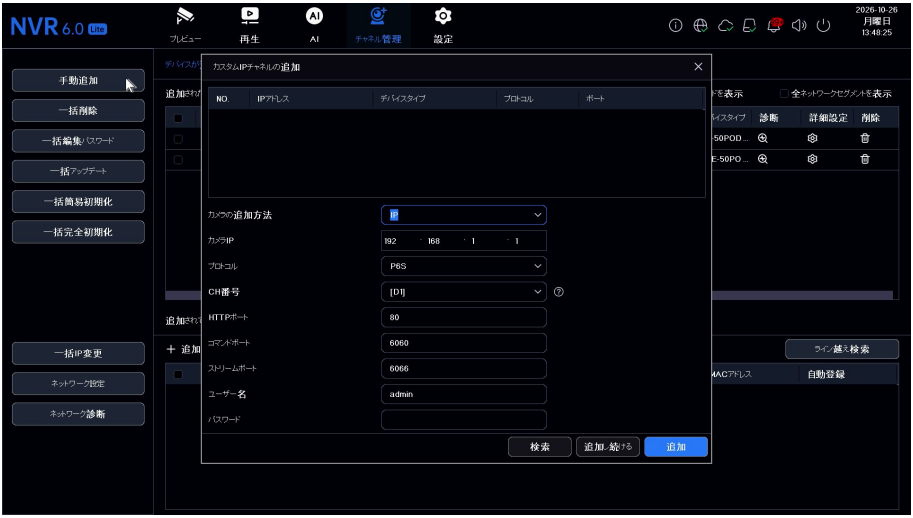
3.2 手動追加

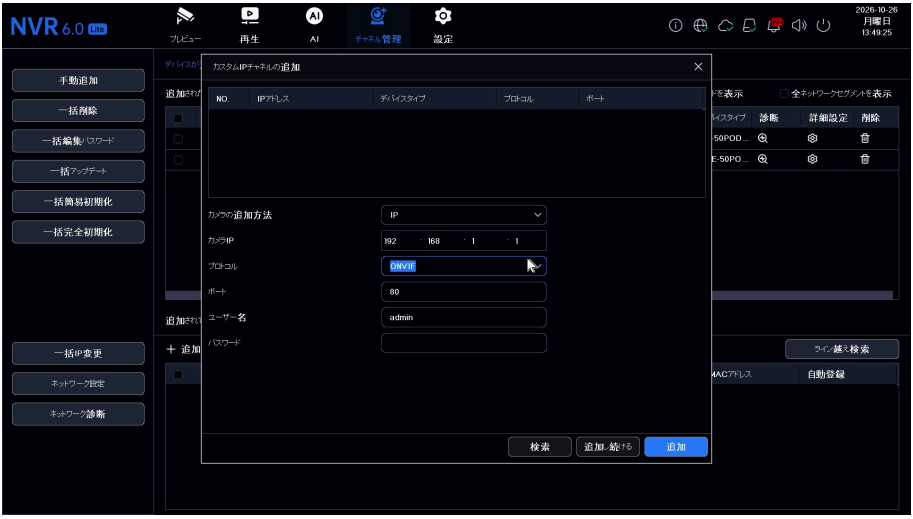
IP 機器を手動追加する際は、IP 機器の IP アドレス、ユーザー名、パスワードなどの情報を手動で入力する必要があります。

操作手順

1. チャンネル管理 → 左側の「手動追加」を選択します。
2. IP カメラのアドレス、プロトコル、管理ポート、伝送プロトコル、ユーザー名、パスワードを入力します。

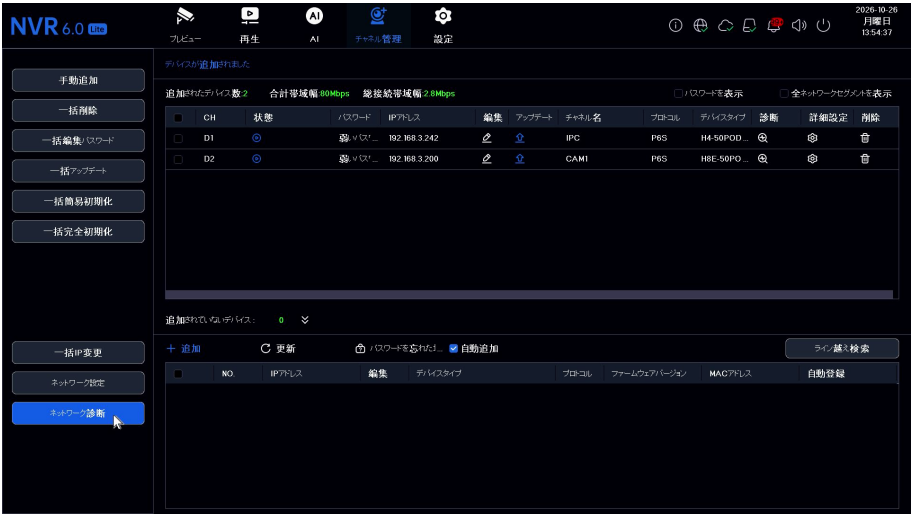
コマンドポート値の範囲：1 ~ 65535





3.3 ネットワーク診断

本 NVR はネットワーク状態、カメラの遅延パケットロスなどの診断機能に対応しています。





4. AI

4.1 AI 設定

AI 設定は、接続している IP カメラが AI 機能対応している場合のみ設定可能です。
AI 設定には、動体検知、電子フェンス、ライン越え、離脱検出、流動統計などあります。

1. **動体検知**：画面内の移動物体を検知し、画面に変化が生じた際にアラームを出力します。
2. **電子フェンス**：画面上に閉じた警戒エリアを設定し、人物がエリアに侵入または退出した時にアラームを出力します。
3. **ライン越え**：画面上に警戒線を設定し、物体がこの線を横切った際にアラームを出力します。
4. **離脱検出**：監視対象の担当エリアにおいて、人員が設定時間を超えて離れた場合、離席アラームがトリガーされます。
5. **流動統計**：出入口において出入りする人の数を自動的に集計します。

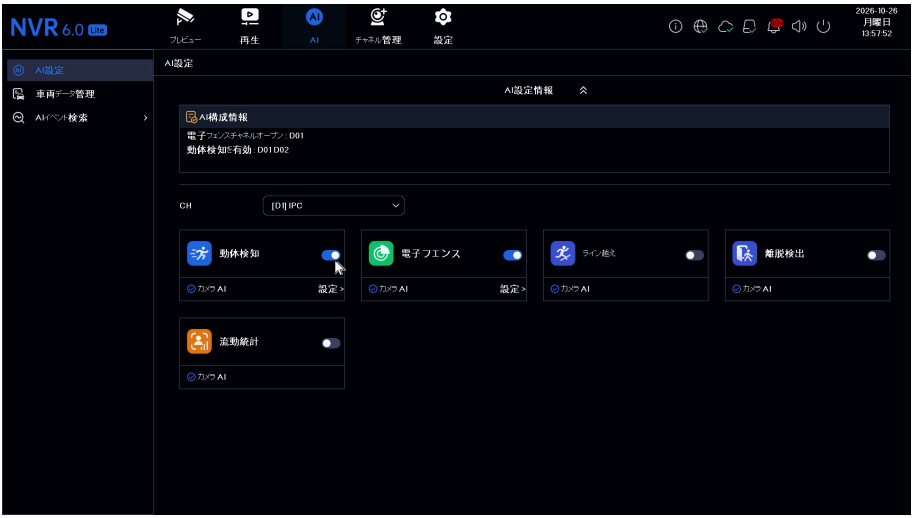
IP カメラの AI 設定機能は一つのみ設定可能で、複数を重ねて使用することはできません。

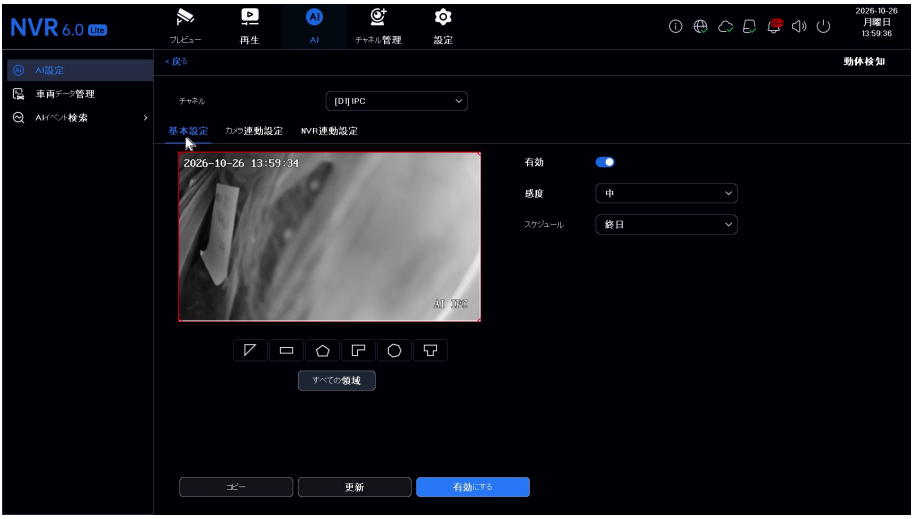
4.2 動体検知アラーム設定

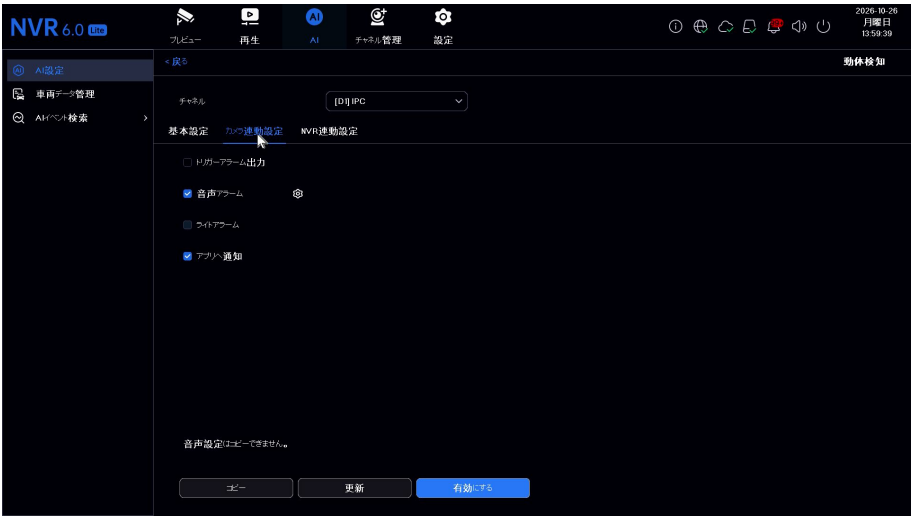
操作手順
1. AI → AI 設定を選択します。
2. 動体検知を設定するチャンネルを選択します。
3. 動体検知を有効にチェックし、「設定 > 」をクリックします。
4. 右側の有効をオンにします。
5. マウスで映像画面上に検知エリアを設定します。
6. 「すべての領域」をクリックすると画面全体を検知エリア

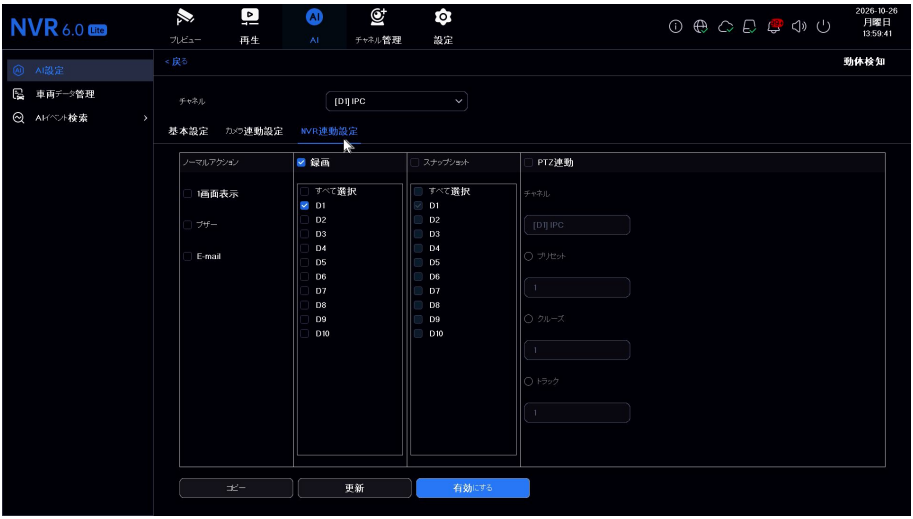
に設定できます。6 種類の図形のいずれかを選択し、図形の各頂点をドラッグして詳細編集が可能です。

7. 右側で検出感度を設定します。
8. スケジュールで検出時間を設定し、終日 / カスタムを選択できます。
9. 「有効にする」をクリックし、設定完了です。









その他の AI 検知設定については、動体検知の設定を参照してください。設定方法はほぼ同じです。

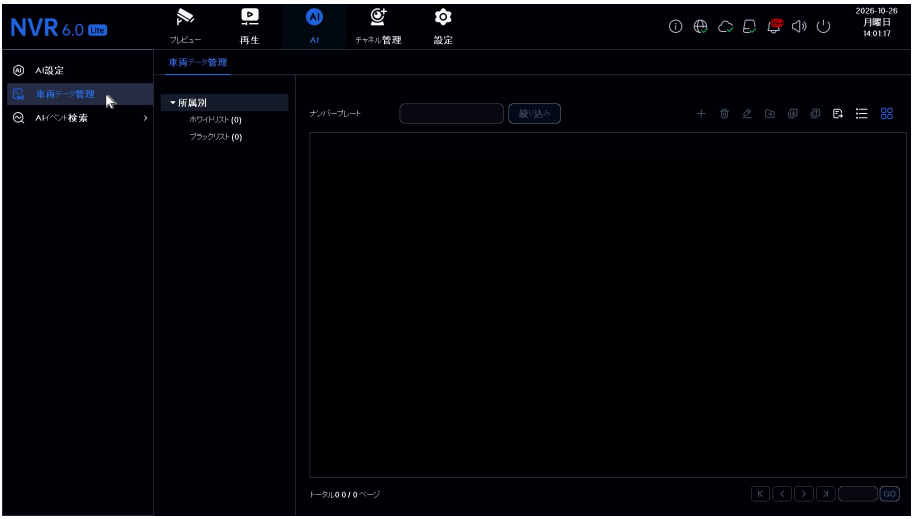
4.3 車両データ管理

ご注意：カメラの機種によって、本機能を搭載していないものがあります。購入ページの記載を優先とします。
車両データ管理とは、車両ナンバー認識機能により車両ナンバー情報を一括保存・管理し、照合を行うことで、車両の出入管理、アラーム通知などを実現する機能です。

データベース内に複数のサブリストを作成可能で、最もよく使われるのはホワイトリストとブラックリストです。

1. ホワイトリスト
通行を許可された車両（社用車、固定取引先車両、構内常駐車両など）。ホワイトリストに一致した場合：自動通行、ゲート開放、アラームを無効に設定可能。

2. ブラックリスト
通行禁止または重点監視対象の車両（料金未払い車、盗難車、立ち入り禁止車など）。ブラックリストに一致した場合：即時アラームを発報（ポップアップ、音声通知、メール、撮影画像の FTP アップロード、IO 出力による音光アラーム連携）、ゲートは連携して開きません。



4.4 AI イベント検索

ご注意：カメラの機種によって、本機能を搭載していないものがあります。購入ページの記載を優先とします。

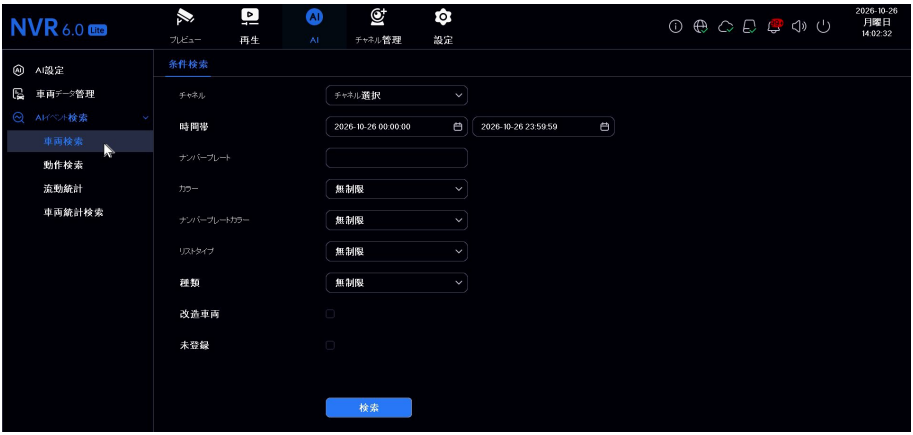
AI イベント検索は映像 AI 分析結果に基づく機能です。撮影対象特徴、イベント、統計データから録画およびアラーム記録を直接検索できます。

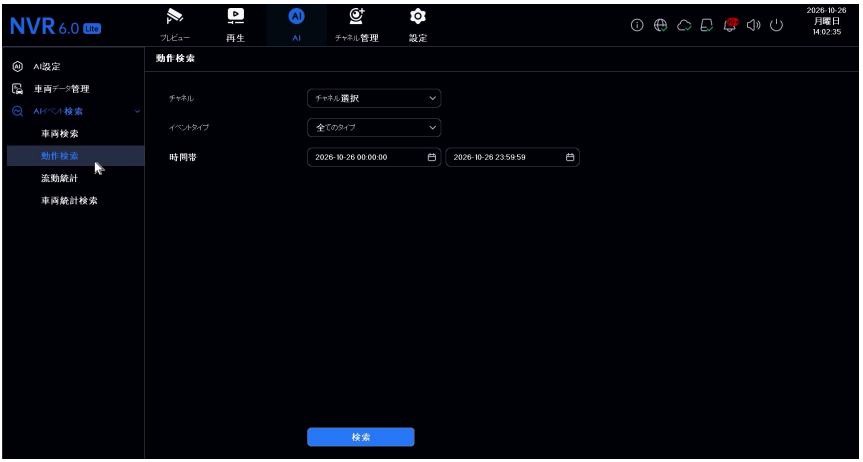
1. 車両検索
原理：ナンバー認識カメラがナンバーを認識すると、ナンバー、撮影画像、時間、チャンネルをデータベースに保存します。検索時にナンバーの全体または一部を入力すると、システムが照合を行い、該当する撮影記録と関連録画クリップを出力します。
検索条件：完全一致ナンバー、時間帯、チャンネル、ナンバー色（青 / 黄 / 緑）
用途：車両の出入記録を追跡し、特定車両の駐車場内における全撮影ポイントを検索します。
特長：撮影画像検索（撮影写真）と録画内ナンバー検索（一部プラットフォームは再生映像内で再度ナンバー認識に対応）を区別します。

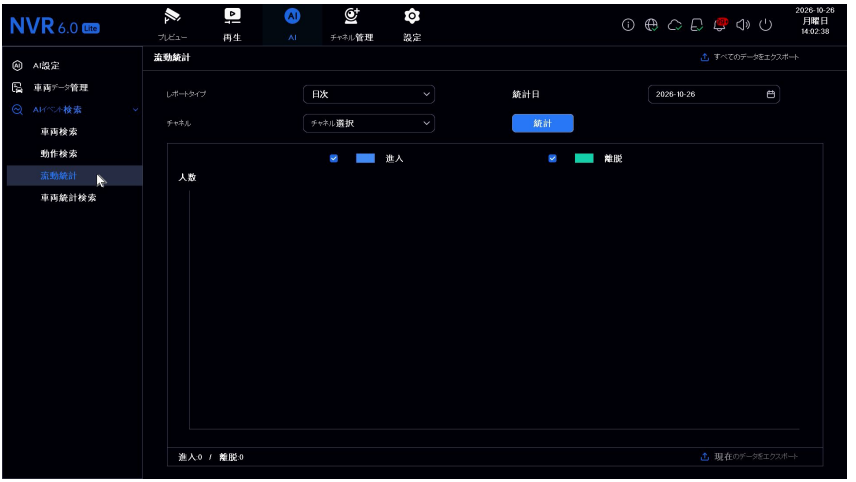
2. 行動検索
対応イベントタイプ：電子フェンス、ライン越え、離脱検出などの AI イベント
原理：アラームイベントをトリガーした際、イベント種別、発生時間、画面スナップショット、チャンネルを記録します。検索時にイベント種別を選択するだけで、該当する録画クリップを抽出できます。
イベント例：ライン越え、エリア侵入（電子フェンス）、離脱検出など。
検索条件：イベント種別、開始・終了時間、監視チャンネル。
用途：侵入アラームや人員の離席イベントを迅速に検索します。

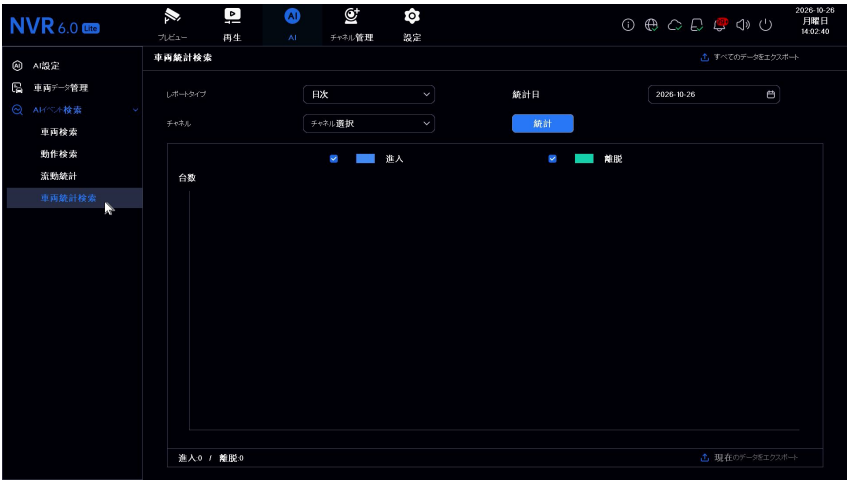
3. 人数統計照会
人流統計と来場者数統計は同じ機能です。
原理：AI が出入口の出入人数を継続的に集計し、リアルタイムの集計データをデータベースに保存します。時間帯（時間 / 日 / 週 / 月）、入場人数、退場人数、エリア内滞留人数。プラットフォームには通常、グラフ（折れ線グラフ、棒グラフ）が搭載されています。
用途：店舗、展示館、工場出入口の人出分析、ピーク時間帯の検証を行います。

4. 車両統計検索
原理：カメラの AI が通行車両を計測し、車種（乗用車、トラックなど）を判別して通行台数を記録します。
照会項目：時間帯、チャンネル、車両通行量。一部機種は車種によるフィルタリングに対応し、統計レポートを出力可能です。
用途：市道、工場出入口の車両通行量分析。



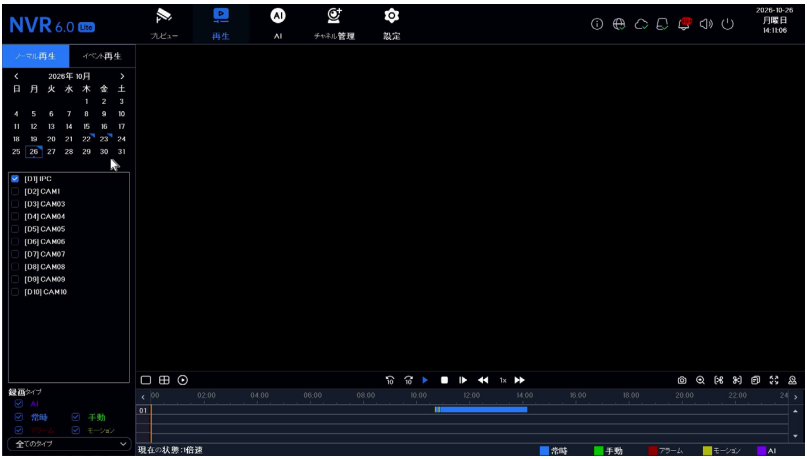

NVR 6.0 Lite
プレビュー
再生
AI
チャネル管理
設定
2026-10-26
月曜日
14:02:35
AI設定
車両データ管理
AIイベント検索
車両検索
動作検索
流動統計
車両統計検索
動作検索
チャネル
チャネル選択
イベントタイプ
全てのタイプ
時間帯
2026-10-26 00:00:00
2026-10-26 23:59:59
検索


NVR 6.0 Lite
プレビュー
再生
AI
チャネル管理
設定
2026-10-26
月曜日
14:02:38
AI設定
車両データ管理
AIイベント検索
車両検索
動作検索
流動統計
車両統計検索
流動統計
すべてのデータをエクスポート
レポートタイプ
日次
統計日
2026-10-26
チャネル
チャネル選択
統計
進入
離脱
人数
進入:0 / 離脱:0
現在のデータをエクスポート


NVR 6.0 Lite
プレビュー
再生
AI
チャネル管理
設定
2026-10-26
月曜日
14:02:40
AI設定
車両データ管理
AIイベント検索
車両検索
動作検索
流動統計
車両統計検索
車両統計検索
すべてのデータをエクスポート
レポートタイプ
日次
統計日
2026-10-26
チャネル
チャネル選択
統計
進入
離脱
台数
進入:0 / 離脱:0
現在のデータをエクスポート

5. 再生

再生をクリックして、再生画面にチャンネルと日付を選択した後、再生ボダンをクリックして録画映像を確認します。



※ 再生コントロールバーを使用して録画再生の操作を行えます。

再生コントロールボダンの説明:
再生画面の構成および各機能について説明します。

ボタン	説明	ボタン	説明	ボタン	説明
	1 画面		4 画面		再生
	10 秒戻し		10 秒送り		正方向再生
	停止		コマ送り		減速
	倍速		スナップショット		電子ズーム
	クリップ開始		クリップ終了		バックアップ
	全画面		クイック位置指定		

5.1 ノーマル再生

ノーマル再生とは、チャンネルと日付で録画ファイルを検索し、時間順に全種別の録画ファイルを再生する機能です。

操作手順

1. 再生 → ノーマル再生 をクリックします。
2. 日付を選択します。
3. 再生するチャンネルにチェックを入れ、再生タイムバーをダブルクリックすると、当該チャンネルの録画が再生開始されます。

ご注意：録画データが存在する場合、日付の右上に三角アイコンが表示されます。

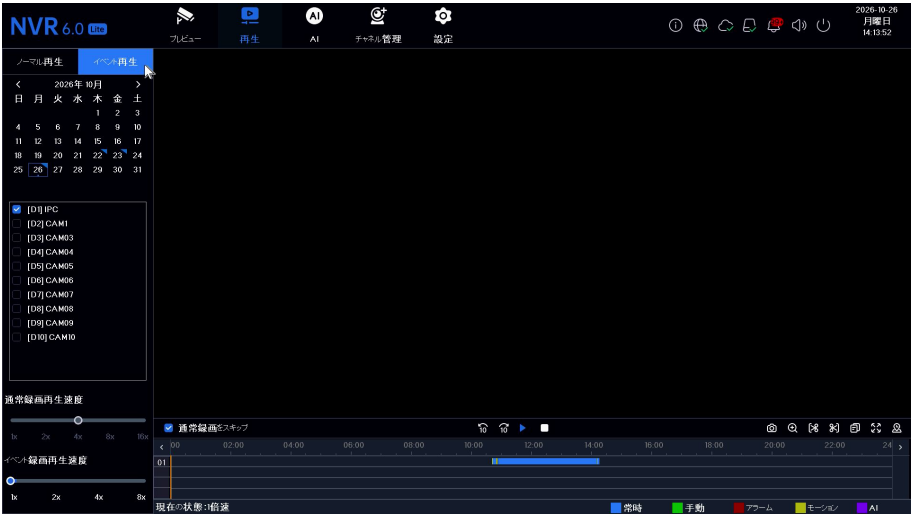


5.2 イベント再生

イベント再生機能では、通常録画とイベント録画の再生速度を調整できて、通常録画をスキップしたりでき、イベント・アラーム発生時の録画クリップに集中して確認できます。

操作手順

1. 再生 → イベント再生 をクリックします。
2. 日付を選択します。
3. 再生するチャンネルにチェックを入れ、再生タイムバーをダブルクリックすると、当該チャンネルの録画が再生開始されます。
4. 通常録画またはイベント録画の再生速度を調整できます。
5. 「通常録画をスキップ」にチェックを入れると、イベント録画のみを連続再生できます。



5.3 その他機能

デジタル拡大（デジタル拡大となるため、拡大に伴い画質が低下します。）

再生中にマウスホイールを回転させ、任意のエリアを部分的にデジタル拡大できます。

操作手順

1. デジタル拡大をしたい再生チャンネルを選択します。
2. 虫眼鏡のアイコンをクリックします。⊕
3. マウスホイールで画像の拡大・縮小が可能です。ホイールを上に回すと拡大、下に回すと縮小します。
4. マウス右クリックでデジタル拡大モードを終了します。

録画クリップ編集

録画再生中に、録画ファイルのクリップ編集を行えます。

操作手順

1. 再生をクリックし、チャンネルと日付を選択して再生をします。
2. クリップ開始をクリックし、クリップモードに入ります。
3. タイムバー上の終了時間をクリックし、クリップ終了をクリックして、録画ファイルを取得します。
4. バックアップをクリックし 、保存先で外部ストレージデバイスを選択、「開始」をクリックします。

クイック再生

クイック再生とは、録画再生画面に時間を入力することで、目的の時間の録画へワンクリックでジャンプできる機能です。 タイムバーを手動でドラッグして探す手間が省けます。

操作手順

1. 再生をクリックし、チャンネルと日付を選択して再生をします。
2. クイック再生のボダンをクリックし、目的の時間を入力します。
3. ジャンプをクリックします。



6. 画面表示設定

6.1 OSD 設定

OSD は On Screen Display の略称です。ローカルプレビューの OSD は主に時刻とチャンネル名を表示します。

操作手順
1. 設定 → カメラ設定 → 画面表示を選択します。
2. OSD 設定を行うチャンネルを選択します。
3. 当該チャンネルの OSD を設定します。OSD はチャンネル左下にオーバーレイ表示されます。
4. 「有効にする」をクリックします。 IP チャンネルの OSD は設定コピー機能に対応しておりません。

IP チャンネルの OSD はコピーに対応していません。



6.2 ISP パラメータ設定

ユーザーはチャンネルごとに異なる画像パラメータを設定し、画像の表示状態と画質を調整できます。

操作手順选择
1. 設定 → カメラ設定 → ISP パラメータ を選択します。
2. 設定を行うチャンネルを選択します。
3. チャンネルの映像パラメータを調整します。

輝度
画面の明るさです。数値を大きくするほど輝度が上がります。
コントラスト
画面内の明部の最も白い部分と暗部の最も黒い部分の輝度差を示します。数値が大きいほど明暗の差が強くなります。
彩度
画面の色彩の鮮やかさです。数値が大きいほど色成分が濃くなります。
色相
画面の色彩の純度、色調を表します。
シャープ
上げると細部が鮮明になりますが、高すぎると画像が歪み、白い縁が発生します。
反転表示
プレビュー画面の上下左右反転を設定します。
フリッカー対策 / フリッカーモード
画面にちらつきや露出過多が発生する場合は、ご使用の国の電源周波数に合わせて設定してください。

その他のパラメータは専門家が調整することを推奨します。非専門の方は初期設定のままご利用ください。



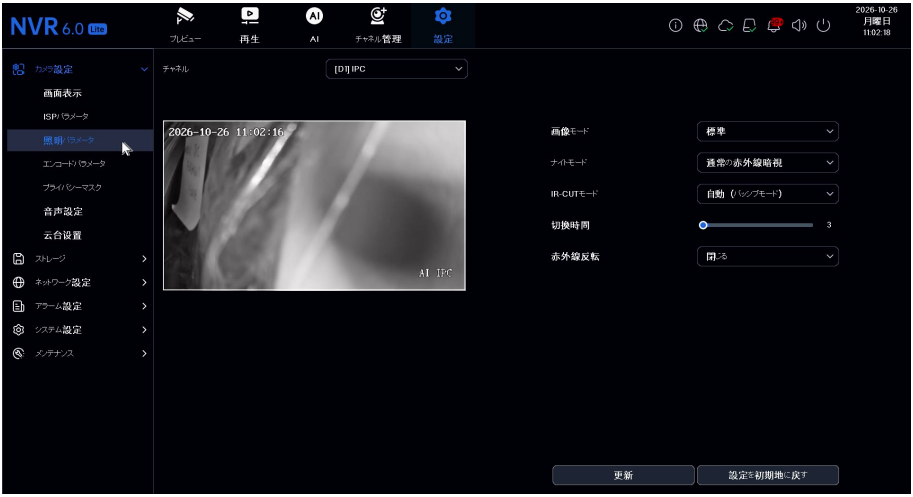
6.3 照明パラメータ設定

補助灯のパラメータを設定します。パラメータは実機により異なります。

画像モード - 露光なし
インテリジェント画像処理技術を採用し、補助灯点灯による画面中央の露出過多を防ぎます。
ナイトモード
機器が補助灯に対応している場合、補光モードを選択できます。
赤外線モード
機器の赤外線補助灯を点灯して補光します。
ライトモード
機器の LED ライトを点灯して補光します。
スマートモード
ホワイトライトと赤外線補助灯の両方を点灯して補光します。

IR-CUT モード
自動（全自動）：全自動設定
昼：IR-CUT の切り替えを実施しません
夜：白黒モードに切り替えます
タイマー：定時切り替えます
自動 (半自動)：IR-CUT 感度を手動で設定する必要があります

IR-CUT 反転：光学フィルターの切り替えロジックが反転します。昼モードになるべきときに夜モードへ切り替わり、夜モードになるべきときに昼モードに切り替わります。初期設定は無効です。



6.4 エンコードパラメータ設定

指定したチャンネルの録画解像度と録画種類のエンコードパラメータを設定します。

操作手順

1. 設定 → カメラ設定 → エンコードパラメータ を選択します。
2. 設定対象のチャンネルを選択し、当該チャンネルの録画解像度とストリームの種類を設定します。
3. コピー操作: 「コピー」をクリックすると、現在のチャンネルのストリームパラメータ設定を他のチャンネルへコピーできます。
4. 適用をクリックし、設定を保存します。

メインストリーム: ビットレートが大きく、高画質で帯域幅を多く消費します。ローカル保存に適しています。
サブストリーム: 映像は比較的スムーズで帯域幅消費が少ないです。低帯域幅ネットワーク伝送や SD 保存に適し、スマートフォン監視にも使用されます。

ストリームタイプ
複合ストリーム: 録画データに映像と音声を含みます。
映像ストリーム: 録画データに映像のみ含みます。
解像度
画像の精細さを示す指標で、単位長さあたりの画素数を指します。録画エンコードの解像度は IP 機器に依存します。
ビットレートタイプ
可変ビットレート (VBR): シーンに応じてビットレートが変動し、画質は 6 段階で調整可能です。
固定ビットレート（CBR）: ビットレートを上限付近でエンコードし、画質の調整はできません。
画質
ビットレートタイプを可変ビットレートに設定した場合に設定可能です。選択肢は最高、高、中、低、さらに低、最低となります。
映像フレームレート
1 秒あたりの映像フレーム数、単位は fps です。映像フレームレートは IP 機器に依存します。

キーフレーム間隔
2 つのキーフレーム（I フレーム）の間のフレーム数です。ストレージ使用量と映像画質のバランスを取ることを主な目的とします。
上限ビットレートモード
汎用ビットレートとカスタムの 2 種類があります。汎用ビットレートはシステムが固定値のパラメータを提供し、カスタムではユーザーがビットレートの数値を手動で入力できます。
上限ビットレート
エンコード時の理論上の最大ビットレートで、録画エンコードの参考値です。
映像エンコード
映像エンコード形式を設定します。選択可能な形式は IP 機器に依存します。接続した IP 機器が H.265+ に対応している場合、H.264、H.265、H.265+ から選択可能です。IP 機器が H.265 に非対応の場合は、現在のエンコード形式（H.264 または MPEG-4）のみ表示されます。
H.264: 映像コーデック技術の一種。圧縮率が高く処理の柔軟性に優れ、超低ビットレートでネットワーク帯域幅とストレージ容量を節約できます。
H.265: 映像コーデック技術の一種。圧縮率が高く処理の柔軟性に優れ、超低ビットレートです。圧縮性能は H.264 と比較して 2 倍に向上し、帯域幅とストレージ容量をさらに節約できます。
H.265+: H.265 より圧縮性能をさらに高め、ストレージ使用量を削減するエンコード方式。



6.5 プライバシーマスク設定

プライバシーマスク機能は、監視映像内の機密またはプライバシーに関わる領域を隠すことができます。

操作手順

1. 設定 → カメラ設定 → プライバシーマスクを選択します。
2. 映像マスクを設定するチャンネルを選択します。
3. プライバシーマスクを有効にするにチェックを入れます。
4. チャンネルプレビュー画面上でマウスを使用し、対象領域を指定します。
5. 適用をクリックします。

マスク領域は最大 4 つ設定可能で、各領域のサイズには制限があります。

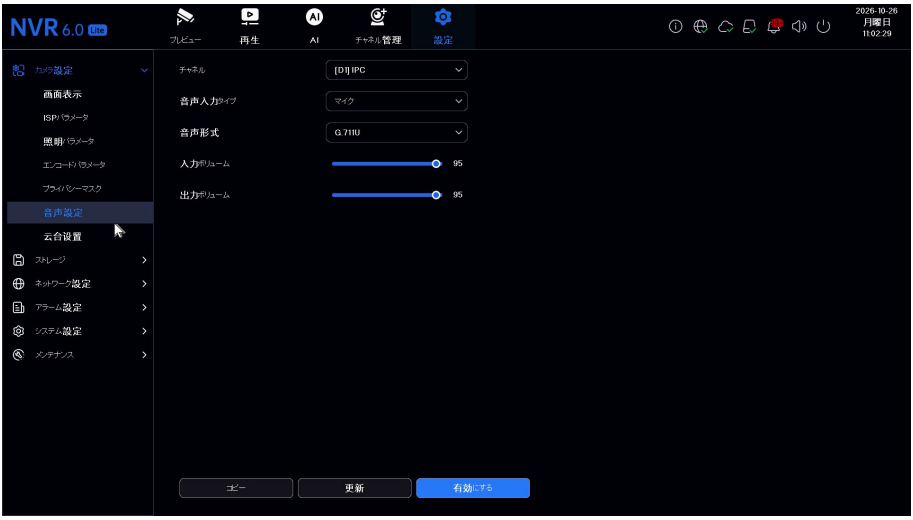


6.6 音声設定

機器の音声エンコード、音量などの音声パラメータを設定します。

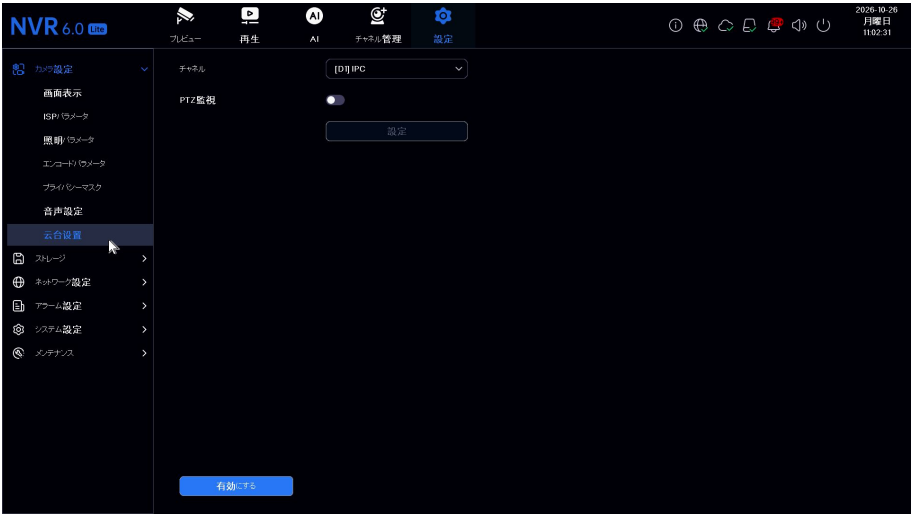
操作手順

1. 設定 → カメラ設定 → 音声設定 を選択します。
2. 音声設定を行うチャンネルを選択します。
3. 音声入力タイプ、音声フォーマット、音量などを選択します。
4. 任意操作: 「コピー先」をクリックすると、現在のチャンネルの音声パラメータを他のチャンネルへコピーできます。
5. 適用をクリックし、設定を保存します。



6.7 PTZ 設定

PTZ オートパトロール



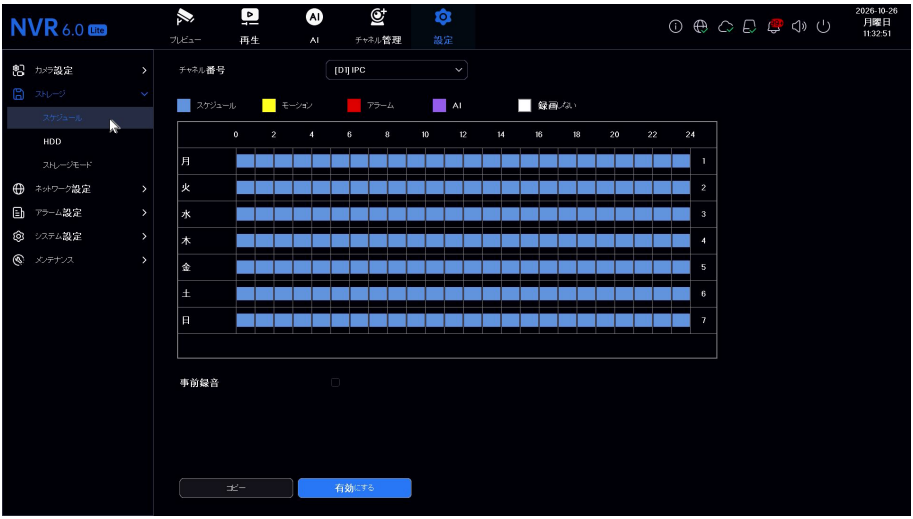
6.8 録画ストレージ設定 - 録画スケジュール

ユーザーの利便性のため、機器はグラフィカル方式でスケジュール時間を描画できます。

操作手順
1. 設定 → ストレージ → スケジュール を選択します。
2. 曜日のうち一日を選択します。
3. 色ブロックをクリックし、スケジュール種別を選択します。
4. 左クリックで描画領域の始点を指定し、マウスを終点までドラッグして左ボタンを離し、スケジュール時間を指定します。
5. 種別を「なし」に選択して既存の描画領域を上書きし、スケジュール時間を修正できます。
6. 上記手順を繰り返し、一週間分のスケジュールを設定します。
7. 設定完了後、タイムテーブルに設定したスケジュール種別の状態（色）が表示されます。
8. コピー操作: 他の日のスケジュールが同じ場合は「コピー先」をクリックし、現在のチャンネルのスケジュールを他のチャンネルへコピーできます。

※ 1 日に設定可能な時間帯は最大 5 つ（異なる色の領域）で、上限を超えた操作は無効になります。
※ 各時間帯は重複または内包することはできません。
※ 描画領域の最小単位は 1 時間です。

※ **スケジュール録画:** 工場出荷時の標準録画種別で、24 時間連続で録画します。
※ **モーション録画:** カメラの動体検知がトリガーされた場合のみ NVR が録画を実行し、再生タイムライン上に黄色で表示されます。
※ **アラーム録画:** システム異常アラームが発生した場合のみ NVR が録画を実行し、再生タイムライン上に赤色で表示されます。
※ **AI 録画:** カメラのインテリジェントイベントがトリガーされた場合のみ NVR が録画を実行し、再生タイムライン上に紫色で表示されます。
※ **録画なし:** この種別を設定すると、NVR は録画を行いません。

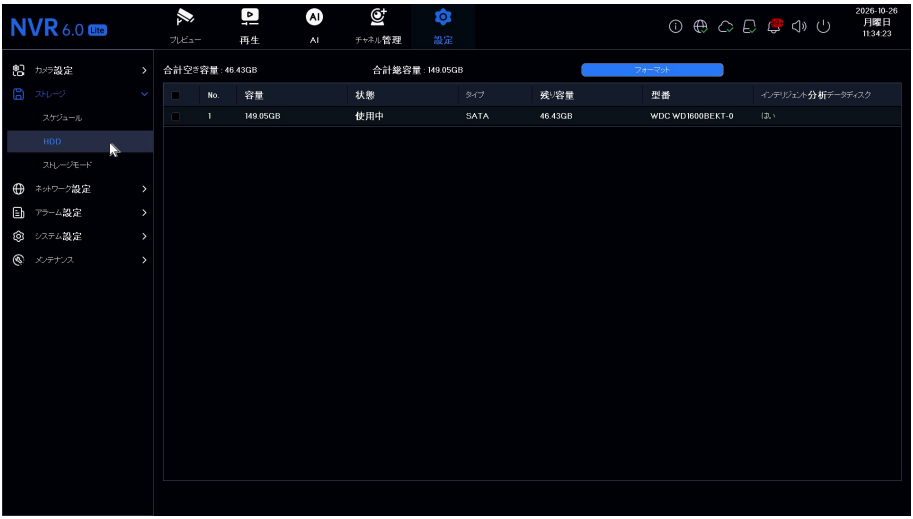


6.9 録画ストレージ設定 - HDD

ハードディスク初期化
本機は起動時に未初期化のハードディスクを検出する機能を搭載しています。ハードディスクは初期化を実施してから正常に使用できます。装置に未初期化のハードディスクが存在する場合、起動完了後または起動ウィザード終了後（起動ウィザードを有効にしている場合）、初期化操作を促すメッセージが表示されます。また、ユーザーはハードディスク管理画面から初期化を実行することも可能です。

前提条件
装置起動前にハードディスクが正しく取り付けられていること。

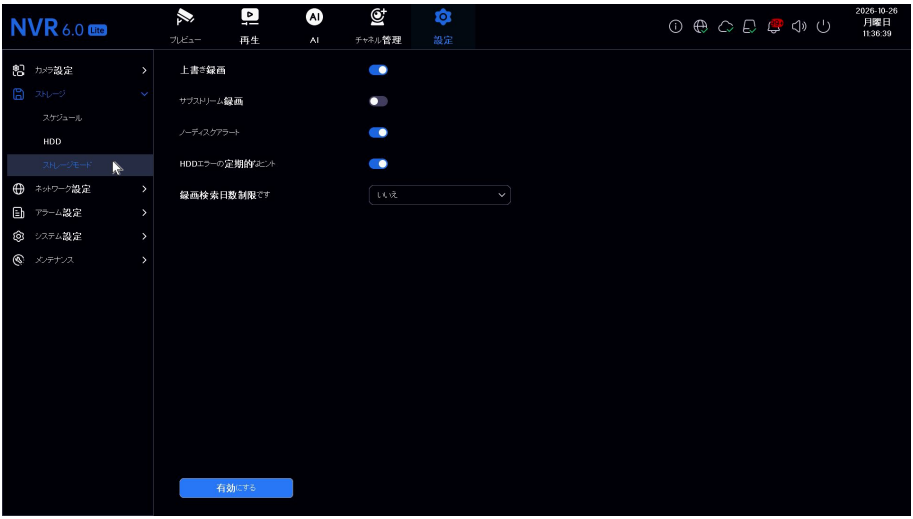
操作手順
1. 設定 → ストレージ → HDD を選択します。
2. 未初期化のハードディスクを選択し、初期化をクリックすると確認ダイアログが表示されます。
3. OK をクリックすると、ハードディスクの初期化が開始されます。
4. 初期化完了後、ハードディスクの状態が未初期化から使用中に変更されます。



6.10 録画ストレージ設定 - ストレージモード

下記の初期設定の使用を推奨します。

上書き録画：有効
サブストリーム録画：無効
ノーディスクアラーム：有効
HDD エラーの定期ヒント：有効
録画検索日数制限です：なし



7. ネットワーク設定

7.1 ローカルネットワーク

ネットワーク監視装置が IP 機器と正常に接続し、ネットワークアクセスを行うためには、ネットワークの基本設定を実施する必要があります。

操作手順

1. 設定 → ネットワーク設定 → ローカルネットワーク → IP 設定を選択します。
2. IPv4 パラメータを設定します。

IPv4 アドレスを自動取得

NVR を DHCP サーバー機能が有効なルーターまたはスイッチに接続している場合、「IPv4 アドレスを自動取得」にチェックを入れてください。DHCP サーバーが IP アドレス情報を自動的に割り当てます。 それ以外の場合はチェックを外し、IPv4 アドレス、IPv4 サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイを手動で入力してください。

MTU

MTU は最大伝送単位を設定する項目で、TCP/UDP プロトコルによるネットワーク伝送における最大データパケットサイズを示します。

DNS サーバーアドレスを自動取得

DNS サーバーはドメイン名の解決を行い、リモートアクセスを実現します。

3.「有効にする」をクリックし、設定を保存します。



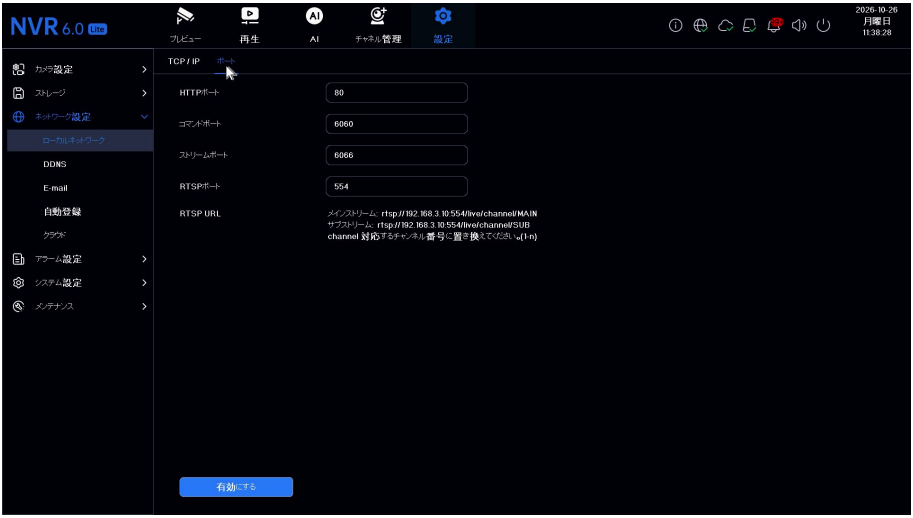
7.2 ポートの設定

操作手順

1. 設定 → ネットワーク設定 → ローカルネットワーク → ポートを選択します。
2. ポート番号を確認し、必要に応じて内部ポートを変更してください。
   サービスポート: クライアントからのアクセスに使用します。既定値は 8000 です。
   HTTP ポート: ブラウザからのアクセスに使用します。既定値は 80 です。
   RTSP ポート: RTSP はリアルタイムストリーミングプロトコルで、TCP/IP プロトコルスタックのアプリケーション層プロトコルです。ネットワーク経由でリモートライブプレビューを行う際に使用します。RTSP ポートの既定値は 554 です。

3. 適用をクリックし、設定を保存します。

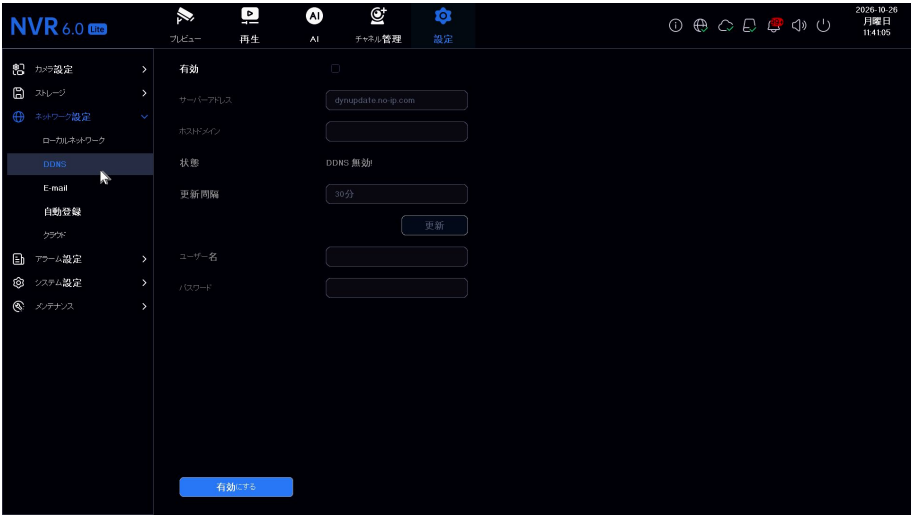
※ クライアントソフトからアクセスする場合は、サービスポートと RTSP ポートの設定が必要です。
※ ブラウザからアクセスする場合は、HTTP ポートと RTSP ポートの設定が必要です。



7.3 動的ドメイン名（DDNS）

機器に固定IPアドレスがない場合、DDNS(動的ドメイン名解決)機能を使用することで、ドメイン名から機器へアクセスできます。これにより、動的 IP アドレスによる機器アクセスの課題を効果的に解消できます。

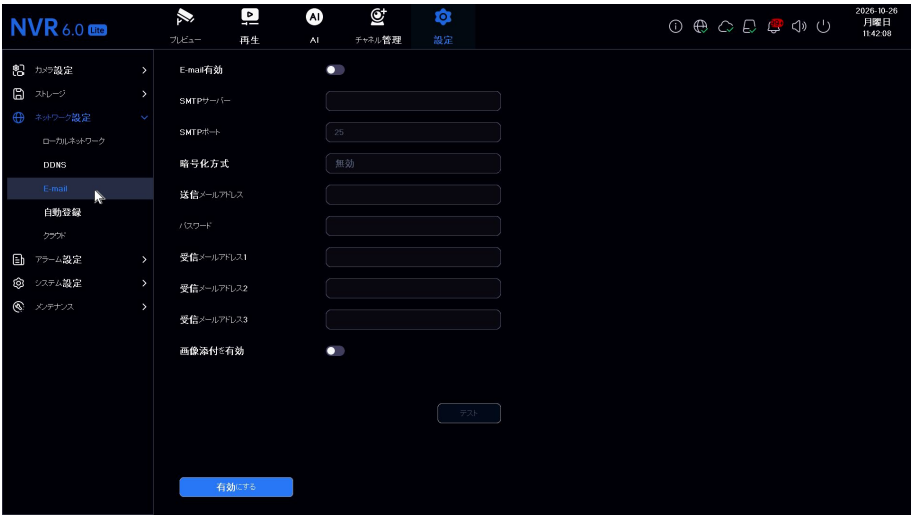
操作手順
1. 設定 → ネットワーク設定 → DDNS を選択します。
2. 「有効」にチェックを入れてください。
3. DDNS サーバーアドレスを選択し、ドメイン提供サイトで申請したユーザー名とパスワードを入力してください。
4. 「有効にする」をクリックし、設定を保存します。



7.4 メール設定

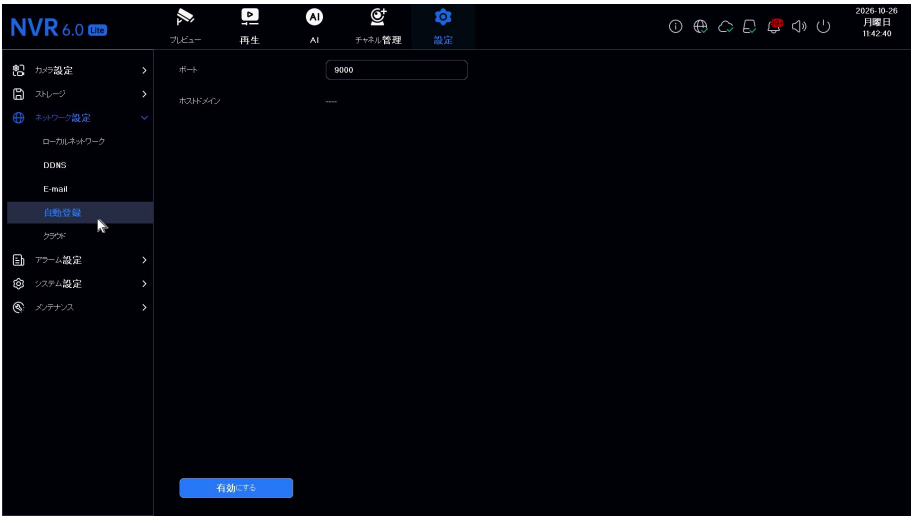
メール設定を行うことで、アラームまたはイベント発生時の連携動作として、事前に設定した受信者のメールアドレスへメールを送信できます。

操作手順
1. 設定 → ネットワーク設定 → E-mail を選択します。
2. メール通知を有効にします。
3. メール設定の各パラメータを設定します。
4. ［テスト］をクリックし、メール送信テストを実行します。
   ※ テスト成功時: 「テストメールの送信に成功しました」と表示されます。
   ※ テスト失敗時: 「テストメールの送信に失敗しました。パラメータまたはネットワーク状態を確認してください」と表示されます。
   この場合は、案内に従ってパラメータまたはネットワーク状態を確認・修正した後、再度メール送信テストを実行してください。



7.5 アクティブレジストレーション

アクティブレジストレーションとは、DDNS サーバーのドメイン名を使用して自動的に接続を確立する機能です（NVR のポートマッピング設定が必要です）。アクティブレジストレーション用ファイルをご提供可能です。本機能を正しく運用するためには、ネットワークおよび DDNS に関する基礎的な知識が必要となります。

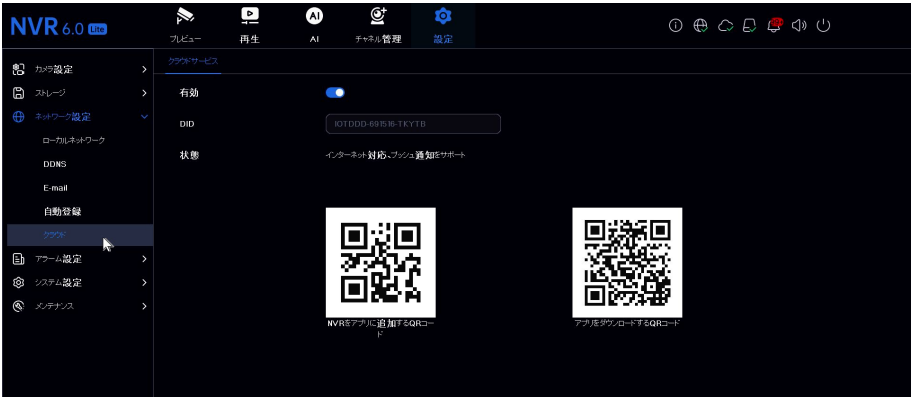


7.6 スマホアプリ接続

本機器はインターネットへの接続に対応し、スマホやタブレットなどの端末の連携できます。

操作手順

1. 設定 → ネットワーク設定 → クラウドを選択します。
2. 機能を有効にします。
3. 接続状態が緑色で表示されている場合、機器がオンラインであることを示します。（）内の数値は、本機器に紐付けられたスマート機器の台数を表します。



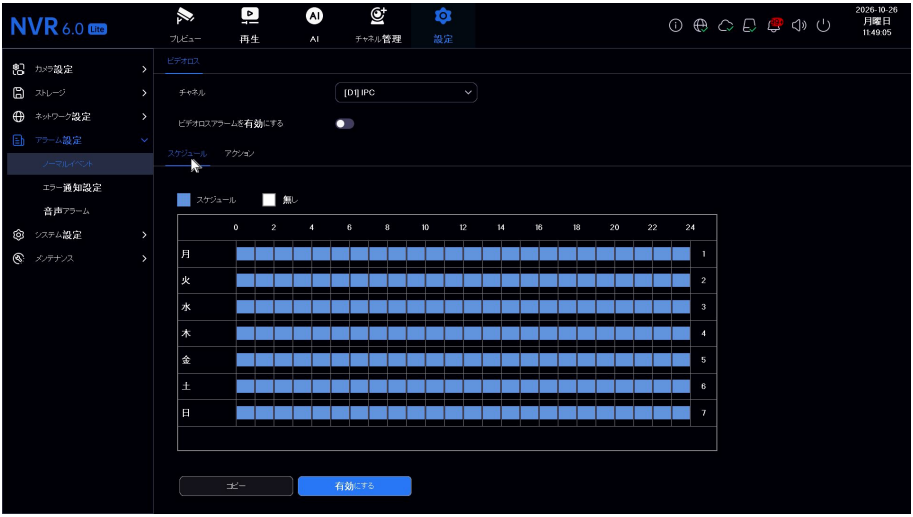
8. アラーム管理

8.1 ノーマルイベント

いずれかのチャンネルで映像信号が喪失した場合、本事象を速やかに検知し、対応することができます。

操作手順

1. 設定 → アラーム管理 →ノーマルイベント→ビデオロス選択します。
2. チャンネル選択欄右側の矢印をクリックし、チャンネルを選択します。
3. ビデオロスアラームを有効にします。
4. 「スケジュール」をクリックします。具体的な操作方法は録画設定と一緒になります。
5. 「アクション」をクリックし、連携内容を設定します。
6. 「有効にする」をクリックして設定完了です。





8.2 エラー通知設定

エラー通知設定は、システムがエラー発生時のアラーム処理を設定する項目です。システムエラーには、ハードディスクエラー（ハードディスク書き込みエラーまたは未初期化のハードディスク）、ネットワーク切断（LAN ケーブル未接続）、不正アクセス（ユーザーパスワード不一致）などが含まれます。

操作手順

1. 設定→アラーム設定→エラー通知設定を選択します。
2. エラーの種類を選択し、標準アクションにチェックを入れます。
3. 「有効にする」をクリックして設定完了です。



8.3 音声アラーム



9. システム設定

9.1 基本設定

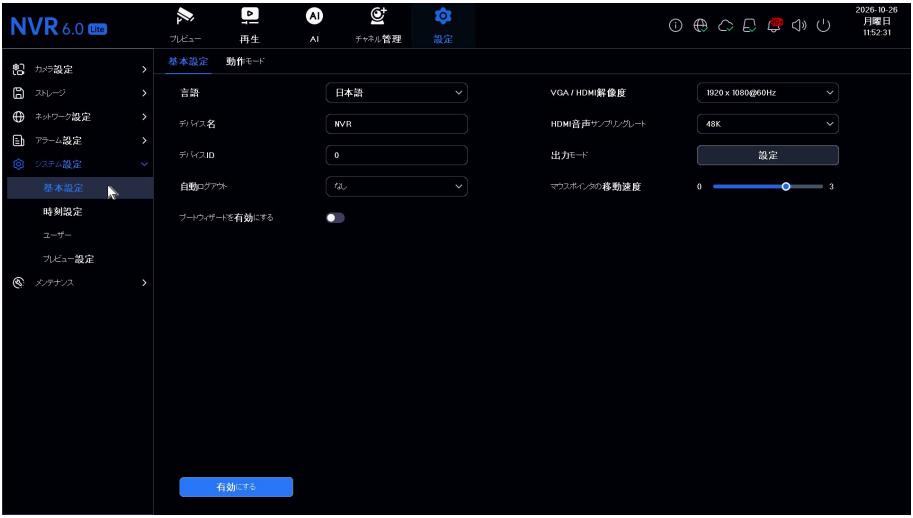
システム言語、デバイス名、デバイス ID などの情報を設定することができます。

操作手順

1. 設定 → システム設定 → 基本設定 をクリックします。
2. 機器の出力解像度（VGA/HDMI 解像度）とマウスポイントの移動速度を設定します。

ご注意：出力解像度は該当モニター本体の液晶画面の解像度ではありません。

3. デバイス名とデバイス ID を手動で変更します。
4. 「自動ロック」、「起動ウィザード」にも設定できます。
5. 「有効にする」をクリックして設定完了です。



9.2 時刻設定

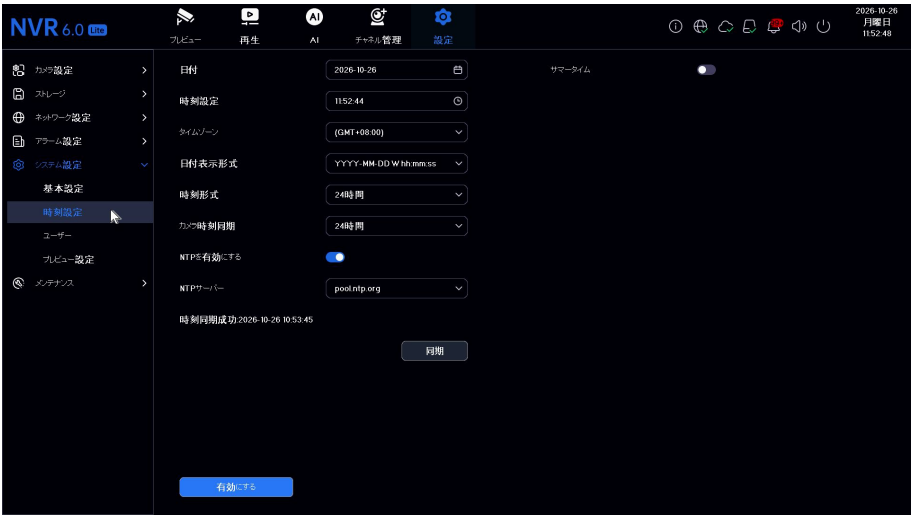
手動時刻設定

操作手順

1. 設定 → システム設定 → 時刻設定 をクリックします。
2. システム日付、システム時刻、タイムゾーン、表示形式を手動で設定します。
3. 「有効にする」をクリックします。

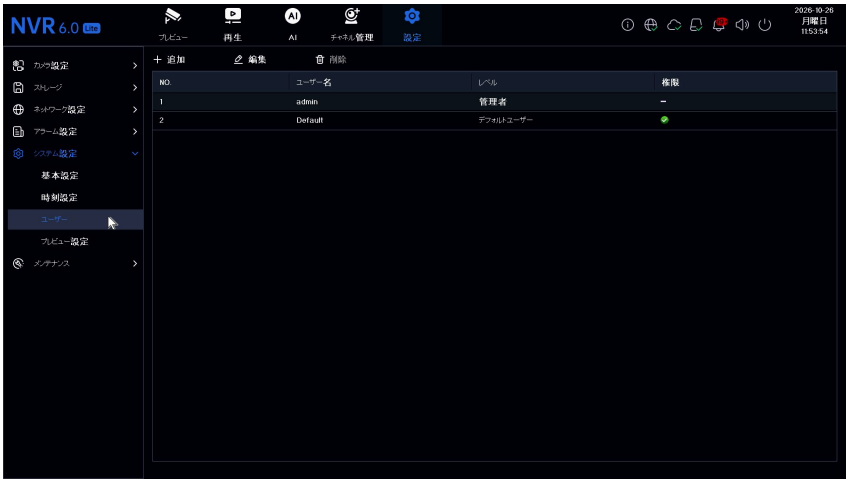
NTP 時刻設定
NTP を有効にすると、NTP サーバーを介して機器の時刻を定期的に補正し、システム時刻の正確性を保つことができます。

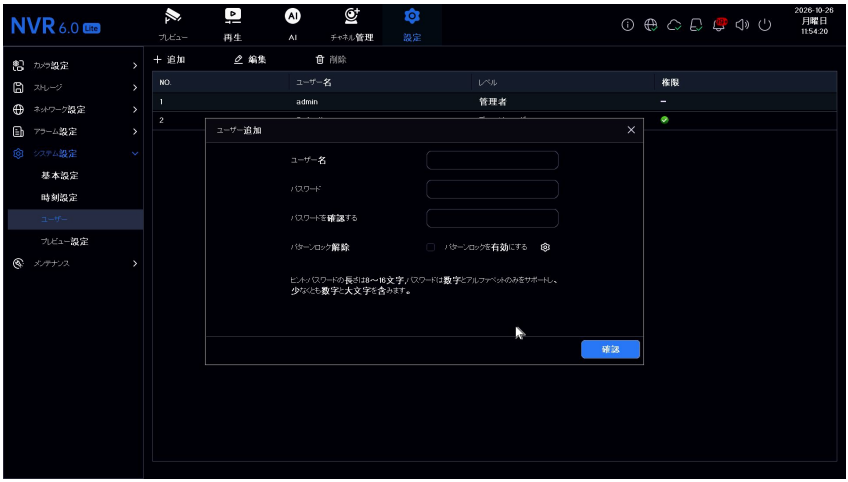
操作手順
1. 設定 → システム設定 → 時刻設定 をクリックします。
2. NTP を有効にします。
3. NTP サーバーを選択した後、「同期」をクリックします。
4. 「有効にする」をクリックし、設定を保存します。

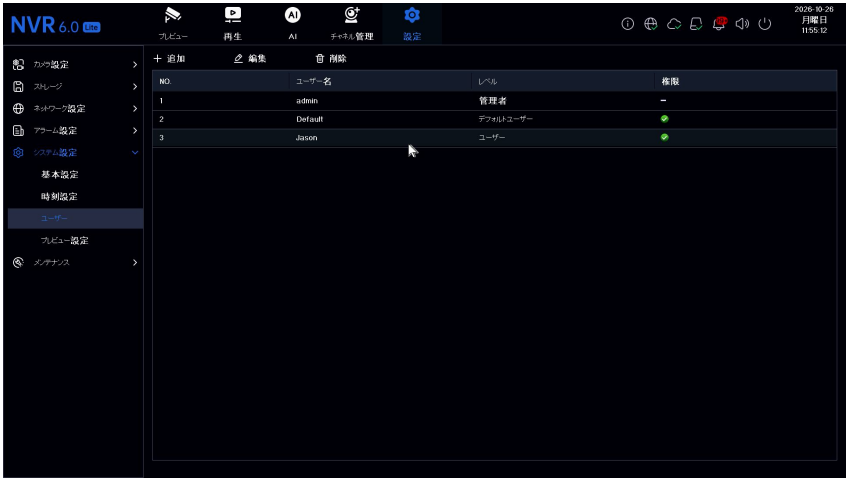


9.3 ユーザー管理

管理者は専用ユーザーを作成し、権限を割り当てることができます。機器管理者は役割ごとにユーザーアカウントを発行し、複数人で同一アカウントを共有しないようにしてください。


NVR 6.0 Lite
プレビュー
再生
AI
チャネル管理
設定
2026-10-26
月曜日
11:53:54
カメラ設定
ストレージ
ネットワーク設定
アラーム設定
システム設定
基本設定
時刻設定
ユーザー
プレビュー設定
メンテナンス
追加
編集
削除
NO.
ユーザー名
レベル
権限
1
admin
管理者
2
Default
デフォルトユーザー


NVR 6.0 Lite
2026-10-26
月曜日
11:54:20
ユーザー追加
ユーザー名
パスワード
パスワードを確認する
パターンロック解除
パターンロックを有効にする
ヒント:パスワードの長さは8～16文字,パスワードは数字とアルファベットのみをサポートし、
少なくとも数字と大文字を含みます。
確認

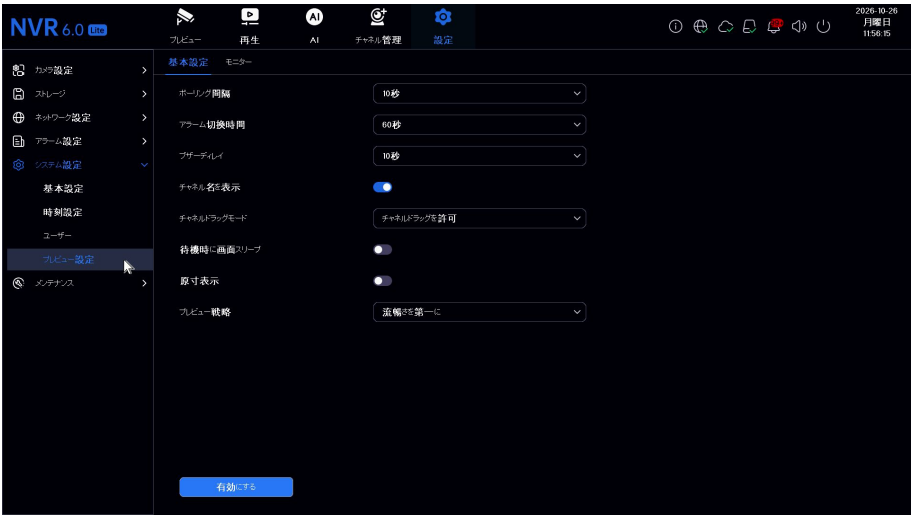

NVR 6.0 Lite
2026-10-26
月曜日
11:55:12
3
Jason
ユーザー

9.4 プレビュー設定

ユーザーはプモニターの表示モード、ポーリング間隔、アラーム切換時間などのパラメータを設定することができます。

操作手順

1. 設定 → システム設定 → プレビュー設定 → 基本設定 をクリックします。
2. ポーリング間隔、アラーム切換時間などを手動で選択します。
3. 「有効にする」をクリックし、設定が完了になります。

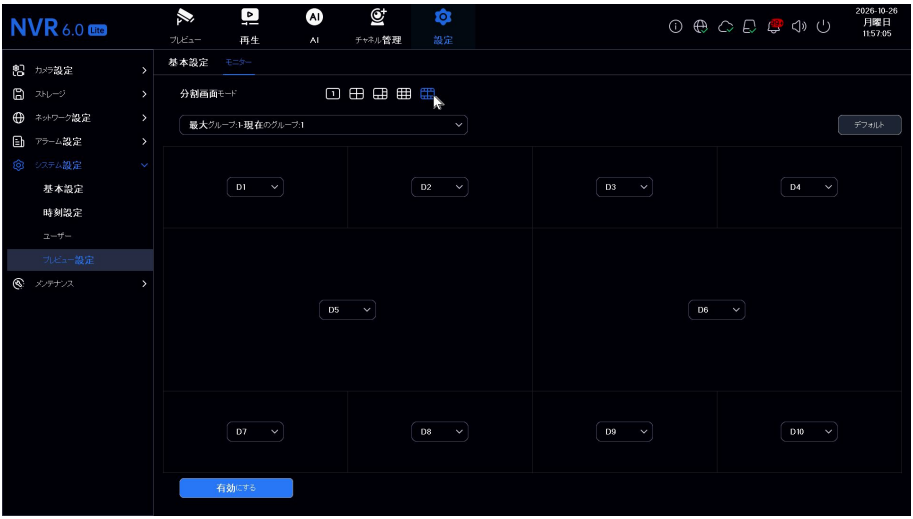


9.5 プレビュー画面レイアウト設定

プレビュー時の画面レイアウト、および IP チャンネルのプレビュー表示順を設定します。

操作手順

1. 設定 → システム設定 → プレビュー設定 → モニター をクリックします。
2. 分割画面モードを選択し、各画面分割モードのアイコンをクリックして表示するチャンネルを選択できます。
3. 「有効にする」をクリックし、設定が完了になります。



10. メンテナンス

10.1 システム情報

システム情報には製品名、製品型番、シリアル番号、システムバージョンなどの情報になります。

操作手順
1. 設定 → メンテナンス → システム情報 → デバイス情報 を選択します。
2. デバイスのメンテナンスや修理に備え、製品型番、シリアルナンバー、システムバージョンなどを確認してください。



10.2 オンラインユーザー確認

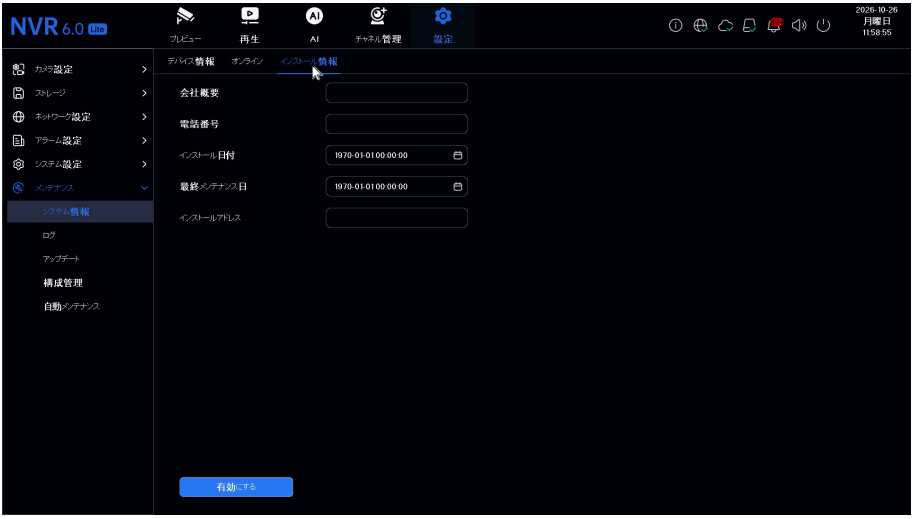
現在オンライン中のユーザー名、ログイン元、ログイン時刻を確認できます。

操作手順
設定 → メンテナンス → システム情報 → オンラインを選択します。



10.3 インストール情報の備考

機器のインストール情報に備考を記入でき、後から情報を参照する際に便利です。

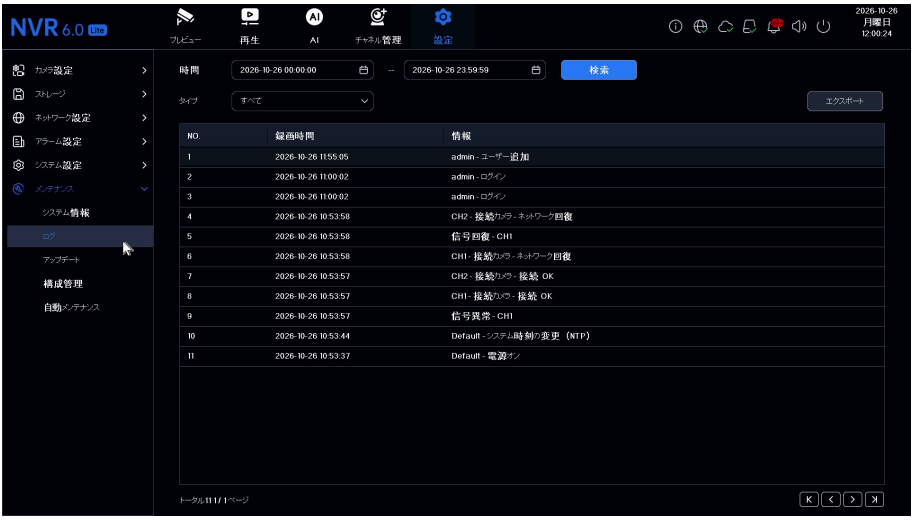


10.4 ログ検索とバックアップ

本 NVR はログの記録、検索、バックアップ機能を搭載しています。ログ情報は防犯設備の重要な手段の一つであり、NVR の動作状態、異常事項、設定情報、操作履歴などを記録します。ユーザーは定期的に機器ログを収集し、バックアップすることを推奨します。

操作手順

1. 設定 → メンテナンス → ログを選択し、ログ検索画面に入ります。
2. ログの開始・終了時刻、ログタイプなどの検索条件を設定します。
3. 「検索」をクリックし、検索結果画面が出てきます。
4. ログ検索結果を確認する、またはログをエクスポートすることを選択します。



10.5 NVR のアップグレード

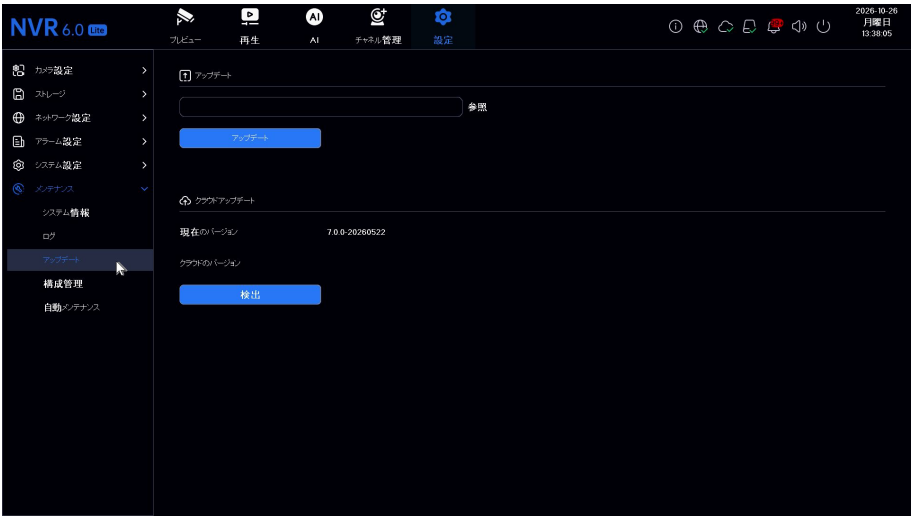
ファームウェアの更新方法については、ローカルアップグレードまたはクラウドアップグレードにて実施できます。

ローカルアップグレード機能は USB メモリーを介してアップグレードを実行します。

操作手順
1. 設定 → メンテナンス →アップデート→アップデートを選択します。
2. アップグレードファイルは USB メモリーに保存して、NVR に挿入します。
3. アップグレードファイルを選択し、「アップグレード」をクリックします。

クラウドアップデート機能はネットワークを通じて利用できます。

操作手順
1. 設定 →メンテナンス →アップデート→クラウドアップデートを選択します。
2. ランケーブルで NVR と WIFI ルーターを有線接続します。
3. 「検出」をクリックします。アップグレード可能なバージョンが存在する場合、クラウドバージョン欄に新しいファームウェアバージョンが表示されます。
4. 4. 新しいファームウェアバージョンがありましたら、「アップデート」をクリックします。



10.6 構成管理

本 NVR はパラメータ設定のインポート・エクスポート、簡易的な設定初期化、工場出荷状態へのリセットなどの機能に対応しています。

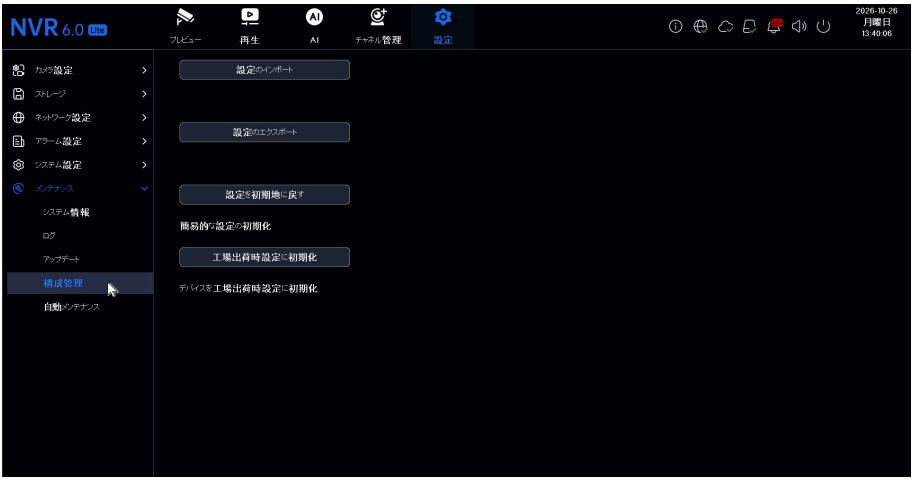
パラメータ設定のインポート・エクスポート

データバックアップにより、異常発生時に機器の設定が消失することを防ぎます。機器の設定ファイルをエクスポートすることで、速やかにバックアップを作成できます。複数台の機器に同じ設定を適用する場合、インポート機能により設定作業の時間を大幅に削減できます。

システム復元

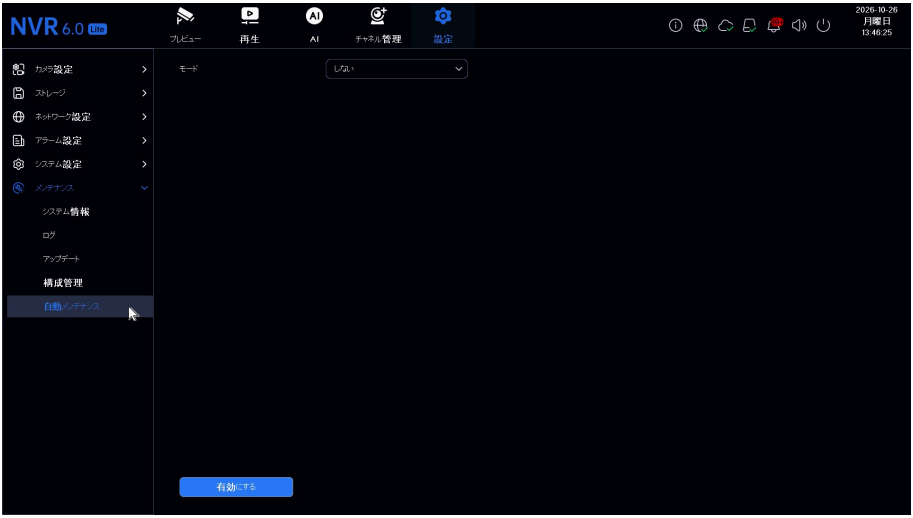
機器のパラメータに異常が発生した場合、システム復元機能を使用し、機器のパラメータを工場出荷時の既定状態に戻すことができます。

※「設定を初期地に戻す」をクリックすると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、MTU、サーバーポート番号を除き、その他すべてのパラメータが工場出荷時の既定値に戻ります。
※「工場出荷時設定に初期化」をクリックすると、すべてのパラメータが工場出荷時の設定に戻ります。



10.7 レコーダーメンテナンス

機器を長時間稼働させる場合、毎週の空き時間帯に自動再起動するよう設定できます。再起動によりキャッシュデータが自動的にクリーンアップされ、システムの安定稼働を確保します。再起動周期は 1 回のみ、毎日、毎週から選択可能です。



11. アプリ接続ガイド

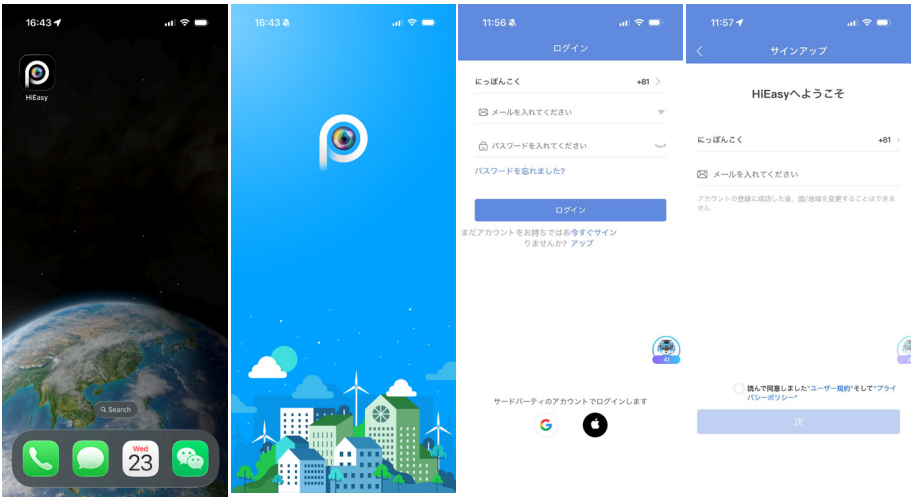
11.1 スマホアプリのダウンロード

IOS は App Store から「HiEasy」を検索してダウンロードします。
アンドロイドは Google Play から「HiEasy」を検索してダウンロードします。
または下記 QR コードを読み取ってアプリをダウンロードできます。

HiEasy

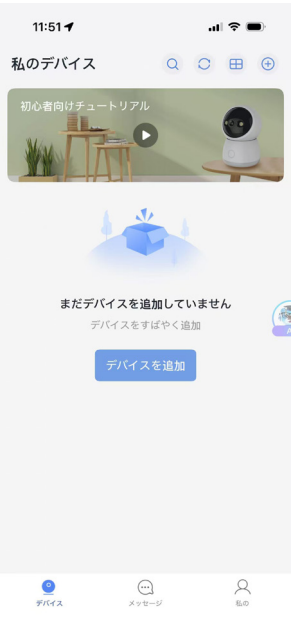
QR コードを読み取って
アプリをダウンロード

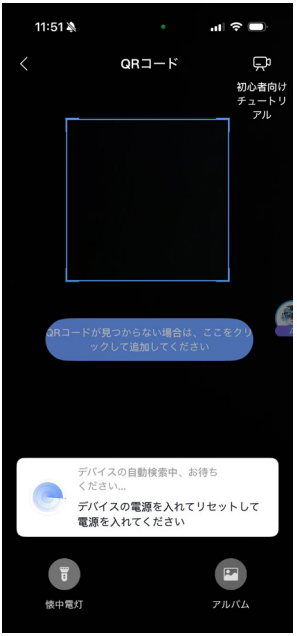
1. アプリを起動してログイン画面を開き、【新規登録】をタップします。
2. メールアドレスまたは電話番号で登録し、【次へ】をタップします。
3. 次の画面で【認証コード】を入力し、【パスワード】を設定して【完了】をタップすると、新規アカウント作成が完了します。



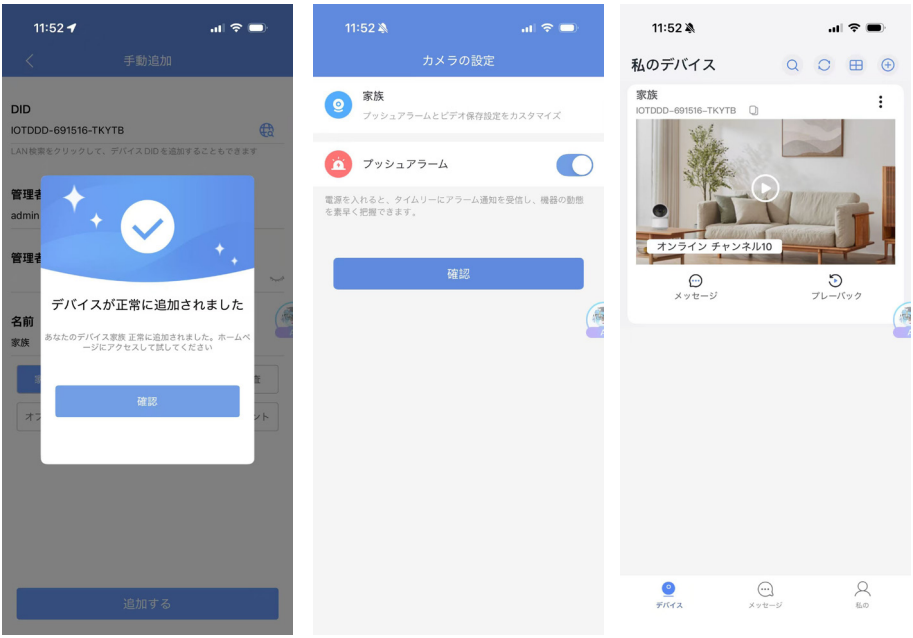
11.2 HiEasy アプリで NVR を追加

1. 右上の「+」または「デバイスを追加」をタップします。
2. マウスはモニターの右上のクラウドサービスのアイコンをクリックして QR コードが出てきます。
3. スマホアプリで NVR の 左側の QR コードを読み取り、デバイスを追加します。レコーダーのユーザー名とパスワードを入力し、追加完了後にデバイス名を設定します。
4. プッシュアラーム通知を有効にして、「確認」を押します。





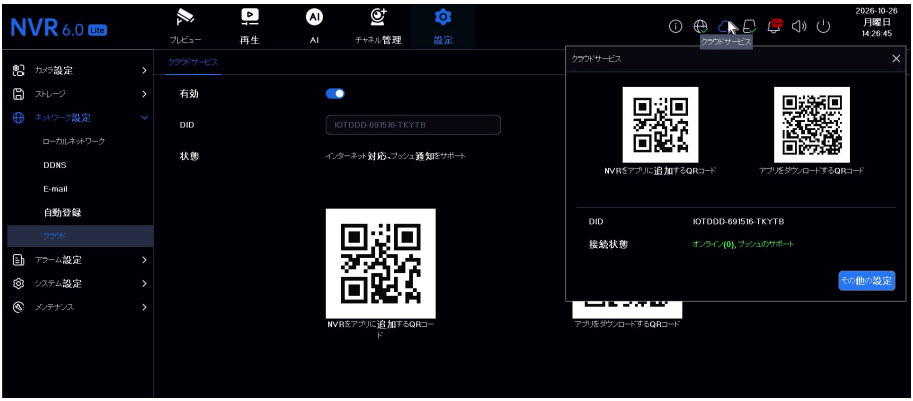




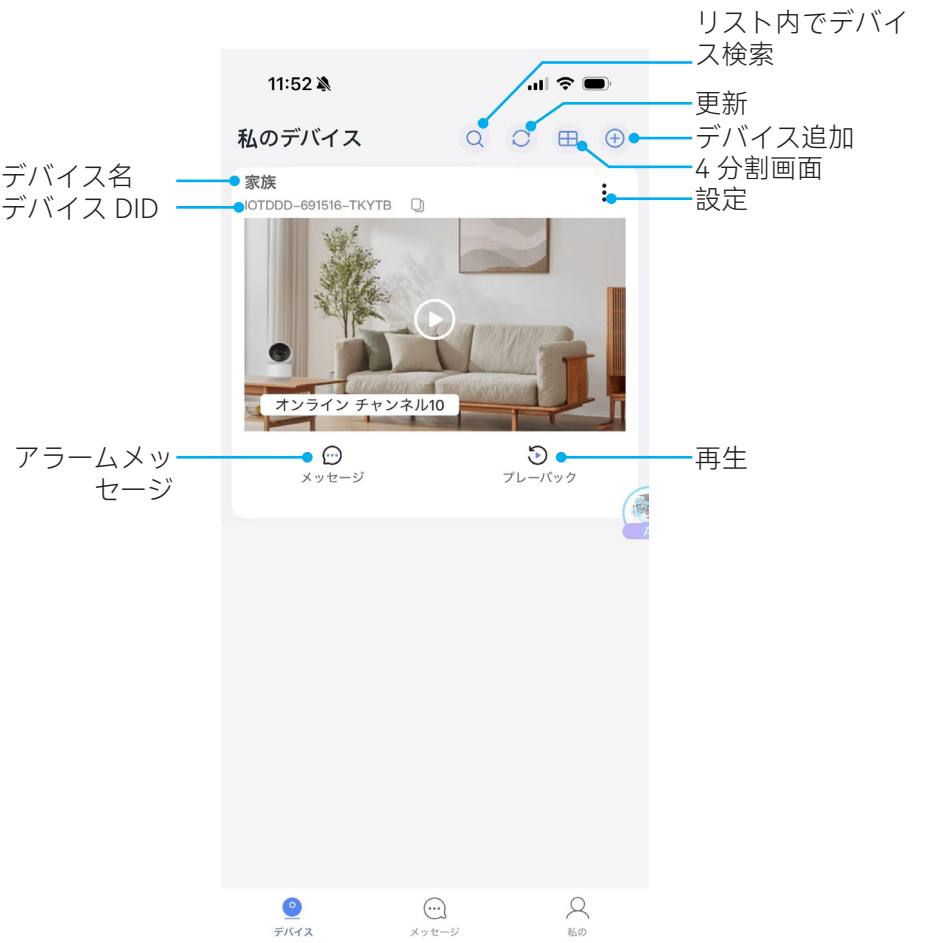
NVR デバイスの QR コードを確認する方法

方法 1:
1. 設定 → ネットワーク設定 → クラウド → クラウドサービスを選択します。
2. クラウドサービスを有効にします。

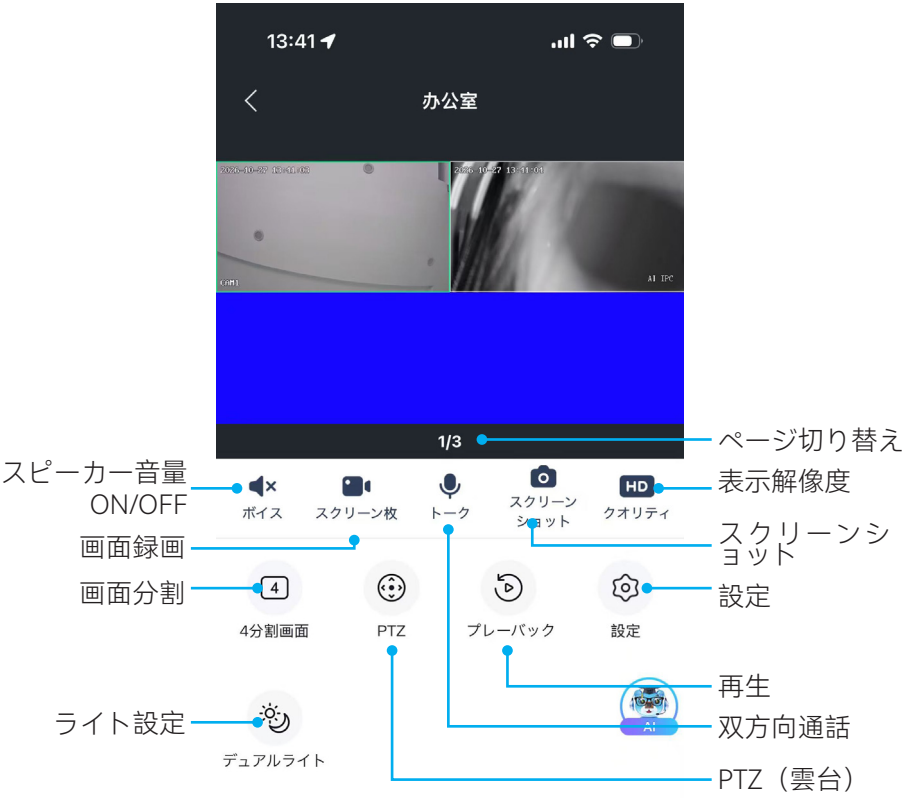
方法 2:
右上の「クラウドサービス」をクリックします。



アプリメイン画面表示


リスト内でデバイス検索
更新
デバイス追加
4 分割画面
設定
デバイス名
デバイス DID
アラームメッセージ
再生
11:52
私のデバイス
家族
IOTDDD-691516-TKYTB
オンライン チャンネル10
メッセージ
プレーバック
デバイス
メッセージ
私の

アプリライブ画面



ご注意：カメラの機種によって、PTZ、ライト、双方向通話など機能を搭載していないものがあります。購入ページの記載を優先とします。

アプリ再生画面


13:41
[D1]CAM01
チャンネル番号
2026-10-27 10:09:39
CAM1
動画再生速度
横画面 / 縦画面
スピーカー ON/OFF
スクリーンショット
ボイス
スクリーン枚
演奏する
スクリーンショット
画面録画
再生 / 一時停止
再生日付選択
10-27
タイムバー縮小
タイムバー拡大
13:15
13:30
13:45
14:00
イベントタイプを選択
すべてのタイプ
詳細を表示
まだ警報ニュースはありません

アプリ NVR 設定画面



デバイス名

デバイスユーザー名

デバイスパスワード

デバイス DID

デバイスクラウド状態

カメラ個別設定

カメラアラームプッシュ設定

日時設定

デバイスバージョン

デバイスネットワーク情報

デバイス再起動

12. クライアント接続ガイド

公式サイトより EasyVMS クライアントをダウンロードします。

EasyVMS

PC ソフトにつきましては、公式サイトよりダウンロードをお願いいたします。

https://jennovjp.com
サポート > セットアップガイド > HiEasy

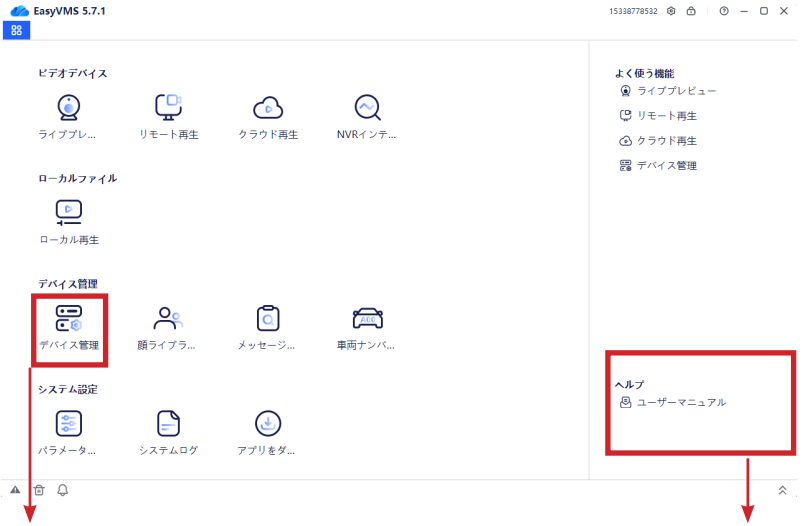
インストール後、クライアントを起動します。

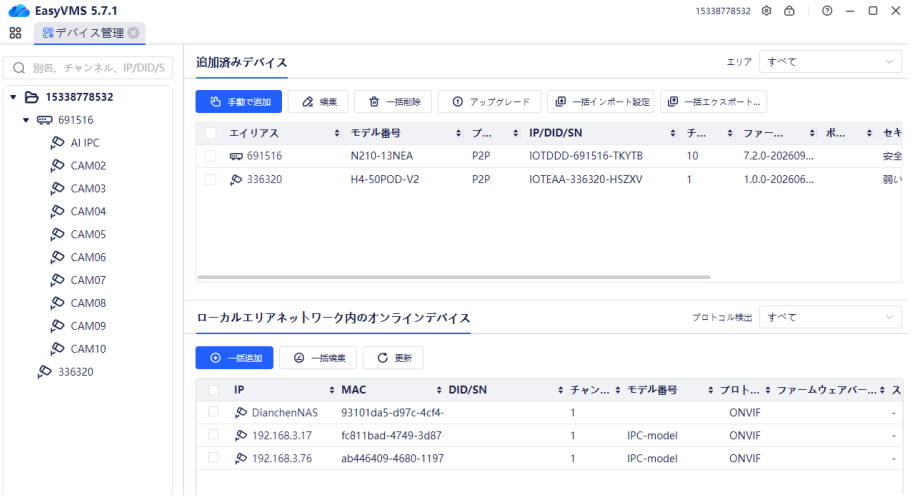


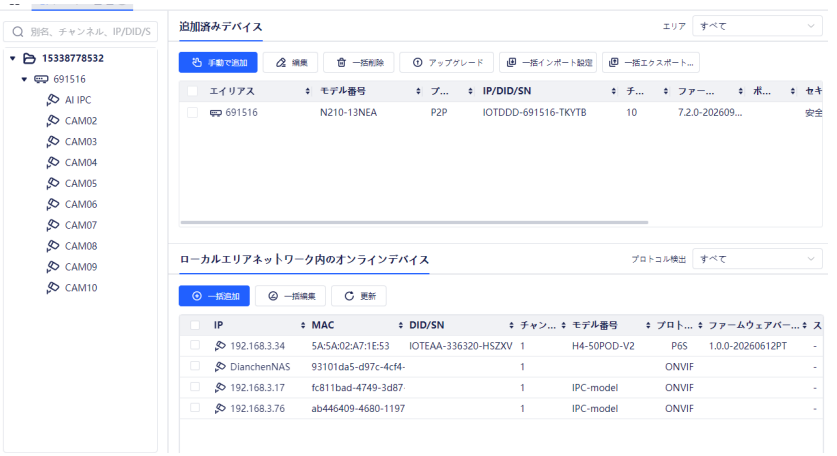
ローカルログイン：パスワード不要でログイン可能

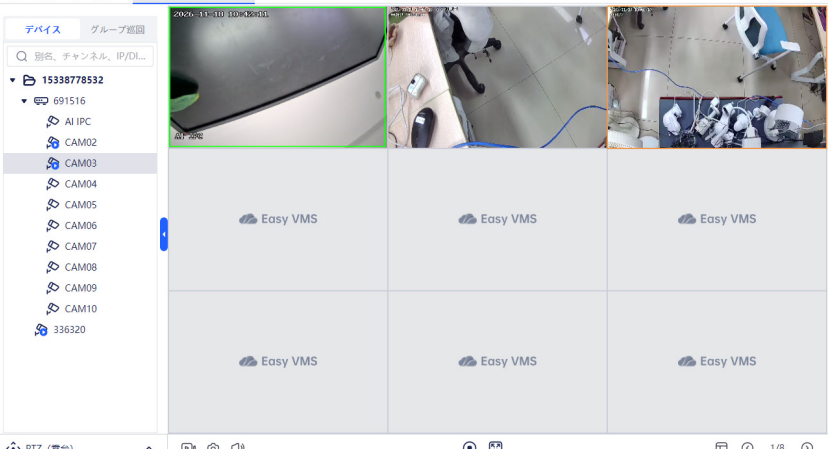


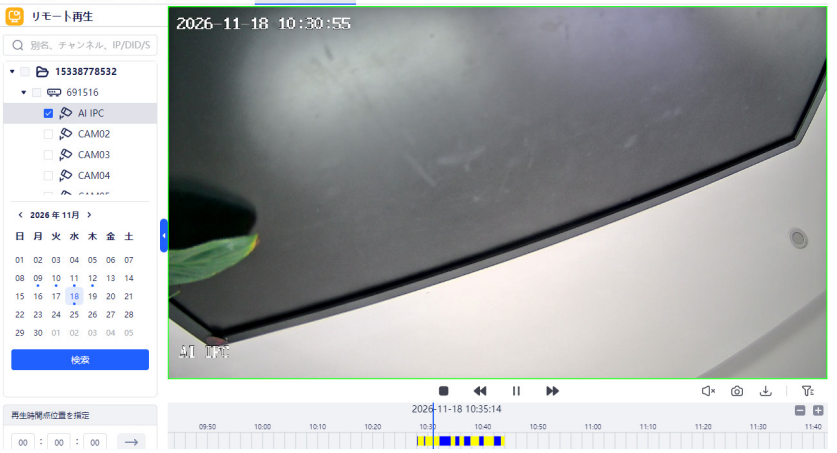
リモートアクセス：アプリのユーザー名とパスワードを入力します


EasyVMS 5.7.1
15338778532
ビデオデバイス
ライブプレ...
リモート再生
クラウド再生
NVRインテ...
ローカルファイル
ローカル再生
デバイス管理
デバイス管理
顔ライブラ...
メッセージ...
車両ナンバ...
システム設定
パラメータ...
システムログ
アプリをダ...
よく使う機能
ライブプレビュー
リモート再生
クラウド再生
デバイス管理
ヘルプ
ユーザーマニュアル
デバイス追加 / 削除
クライアント詳細マニュアルを取得


EasyVMS 5.7.1
15338778532
デバイス管理
別名、チャンネル、IP/DID/S
15338778532
691516
AI IPC
CAM02
CAM03
CAM04
CAM05
CAM06
CAM07
CAM08
CAM09
CAM10
336320
追加済みデバイス
エリア
すべて
手動で追加
編集
一括削除
アップグレード
一括インポート設定
一括エクスポート...
エイリアス
モデル番号
プ...
IP/DID/SN
チ...
ファー...
ポ...
セキ
691516
N210-13NEA
P2P
IOTDDD-691516-TKYTB
10
7.2.0-202609...
安全
336320
H4-50POD-V2
P2P
IOTEAA-336320-HSZXV
1
1.0.0-202606...
弱い
ローカルエリアネットワーク内のオンラインデバイス
プロトコル検出
すべて
一括追加
一括編集
更新
IP
MAC
DID/SN
チャン...
モデル番号
プロト...
ファームウェアバー...
ス
DianchenNAS
93101da5-d97c-4cf4-
1
ONVIF
-
192.168.3.17
fc811bad-4749-3d87-
1
IPC-model
ONVIF
-
192.168.3.76
ab446409-4680-1197
1
IPC-model
ONVIF
-


別名、チャンネル、IP/DID/S
15338778532
691516
AI IPC
CAM02
CAM03
CAM04
CAM05
CAM06
CAM07
CAM08
CAM09
CAM10
追加済みデバイス
エリア
すべて
手動で追加
編集
一括削除
アップグレード
一括インポート設定
一括エクスポート...
エイリアス
モデル番号
IP/DID/SN
691516
N210-13NEA
P2P
IOTDDD-691516-TKYTB
10
7.2.0-202609...
安全
ローカルエリアネットワーク内のオンラインデバイス
プロトコル検出
すべて
一括追加
一括編集
更新
IP
MAC
DID/SN
モデル番号
192.168.3.34
5A:5A:02:A7:1E:53
IOTEAA-336320-HSZXV
H4-50POD-V2
P6S
1.0.0-20260612PT
DianchenNAS
93101da5-d97c-4cf4-
ONVIF
192.168.3.17
fc811bad-4749-3d87-
IPC-model
192.168.3.76
ab446409-4680-1197


デバイス
グループ巡回
別名、チャンネル、IP/DI...
15338778532
691516
AI IPC
CAM02
CAM03
CAM04
CAM05
CAM06
CAM07
CAM08
CAM09
CAM10
336320
Easy VMS
Easy VMS
Easy VMS
Easy VMS
Easy VMS
Easy VMS


リモート再生
別名、チャンネル、IP/DID/S
15338778532
691516
AI IPC
CAM02
CAM03
CAM04
2026 年 11月
日 月 火 水 木 金 土
検索
2026-11-18 10:30:55
2026-11-18 10:35:14

13. 安心なアフターサービス

製品保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当製品は、厳密たる品質管理及び検査を経てお届けしておりますが、万が一保証期間内に故障した場合には、弊社保証規定に従って無料修理あるいは新品交換させていただきます。

1、下記の QR コードをスキャンし、オンラインお問い合わせまで連絡してください。

Online Chat

line ID

2、保証サービスについてのメールを送ってください。

ご注意: 機種を確認するために、メールの内容に注文番号を入れる必要です。

お気軽にお問合わせてください

supportjp@jeneutech.com

050-5050-9046
034-577-8298（10:00-13:00、14:30-18:30 土日を除く）